

# 介護サービス未利用者調査 編



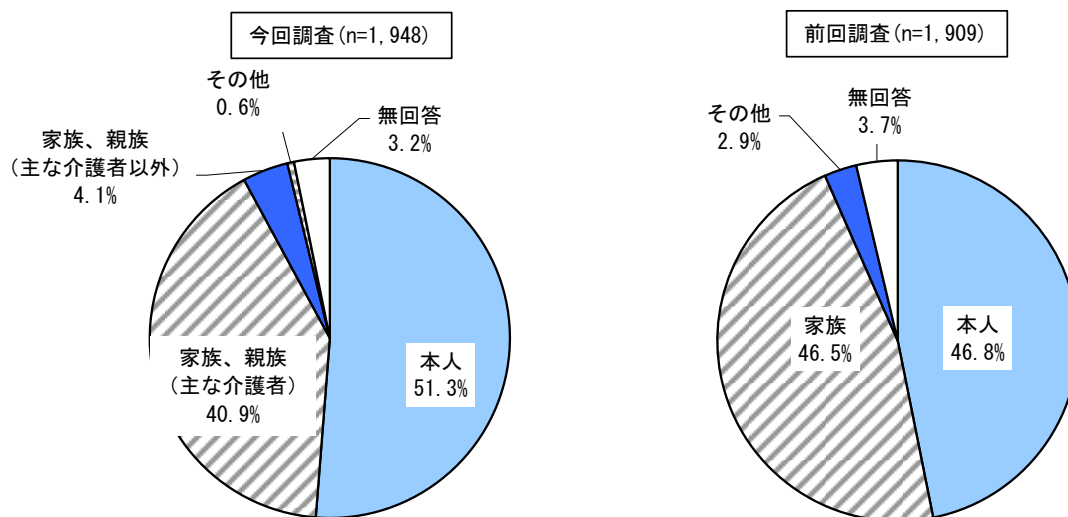
### 3 サービス未利用者調査結果

#### (1) 調査回答者の基本属性

##### 問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(〇はひとつ)

【図1 記入者（経年比較）】

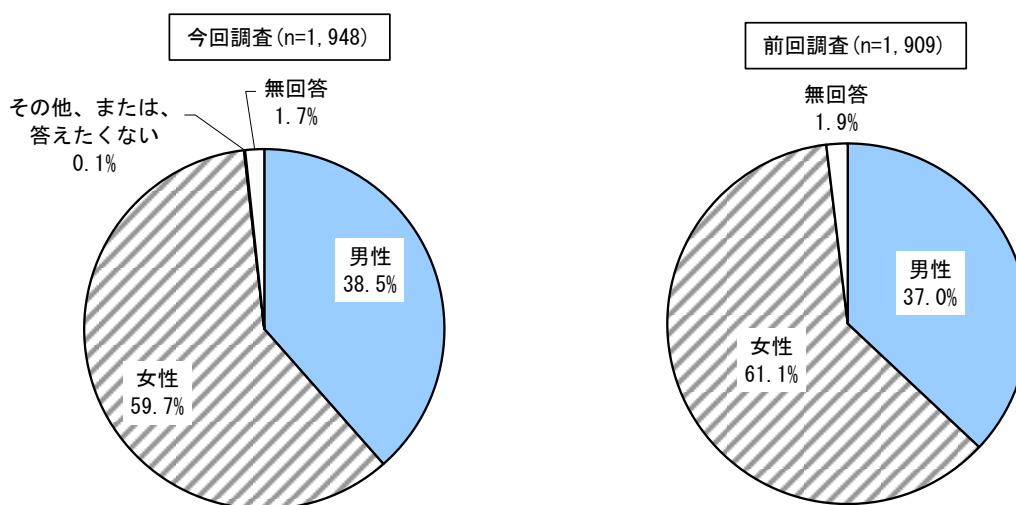


記入者は、「本人」が51.3%、「家族、親族（主な介護者）」が40.9%となっている。前回調査と比較すると、「本人」の割合が4.5ポイント高くなっている。(図1)

##### 問2 (1) 本人の性別

あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。(それぞれ〇はひとつ)

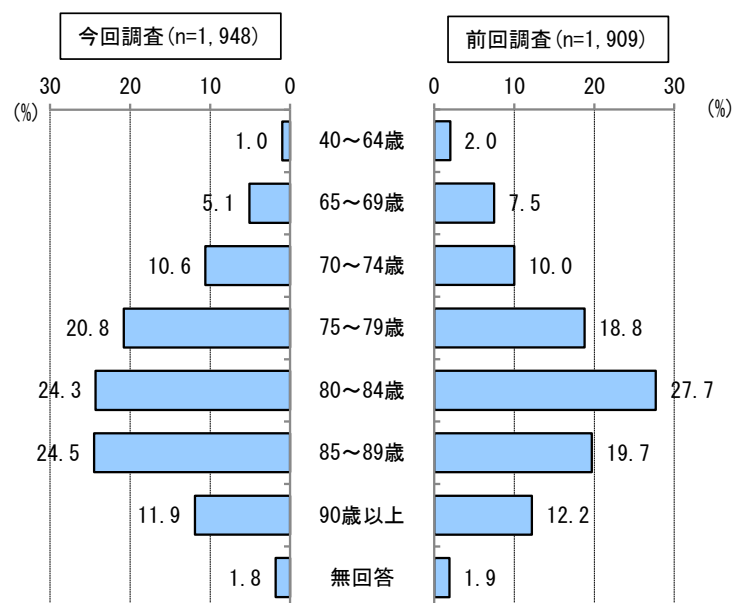
【図2(1) 本人の性別（経年比較）】



本人の性別では、「男性」が38.5%、「女性」が59.7%となっている。前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図2(1))

問2 (2) 本人の年齢

【図2(2) 本人の年齢 (経年比較)】

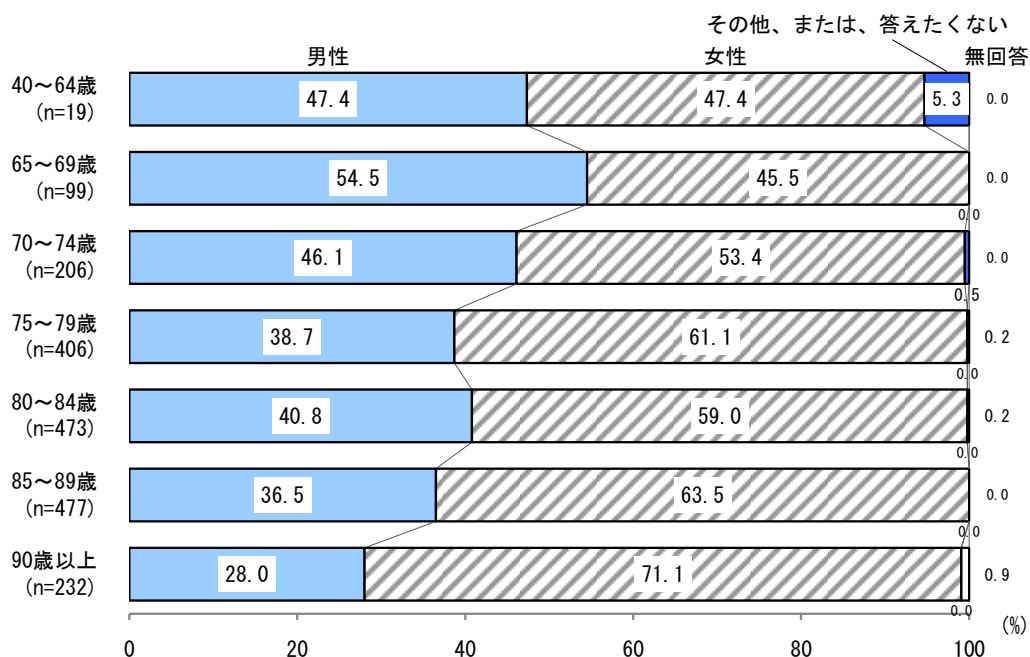


本人の年齢では、「85~89歳」が24.5%で最も多く、次いで「80~84歳」が24.3%、「75~79歳」が20.8%となっている。

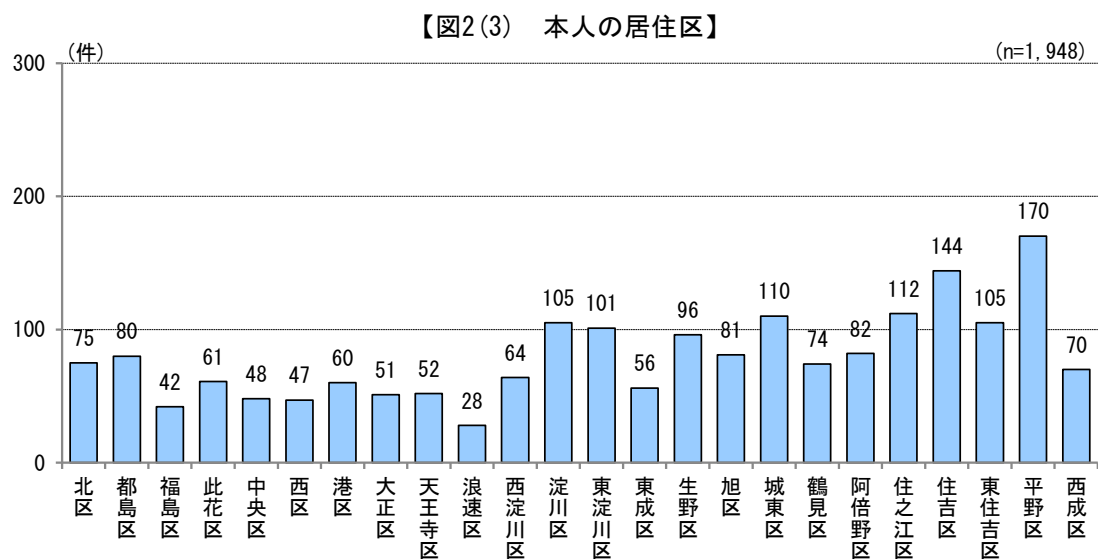
前回調査と比較すると、「85~89歳」の割合が4.8ポイント高くなっている。(図2(2))

本人の年齢別でみると、40~64歳の回答者は「男性」「女性」が同率となっている。65~69歳の回答者は「男性」のほうが多く、70歳以降の各年代では「女性」のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

【図2(2)-a 本人の性別 (本人の年齢別)】



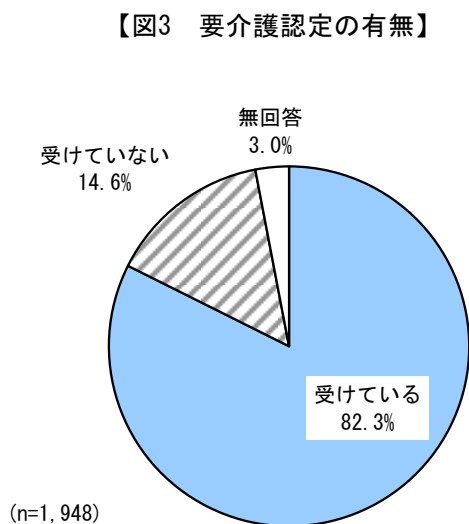
問2 (3) 本人の居住区



本人の居住区では、「平野区」が170件で最も多く、次いで「住吉区」が144件、「住之江区」が112件となっている。(図2(3))

問3 要介護認定の有無

あなたは要介護（要支援）認定を受けていますか。(○はひとつ)



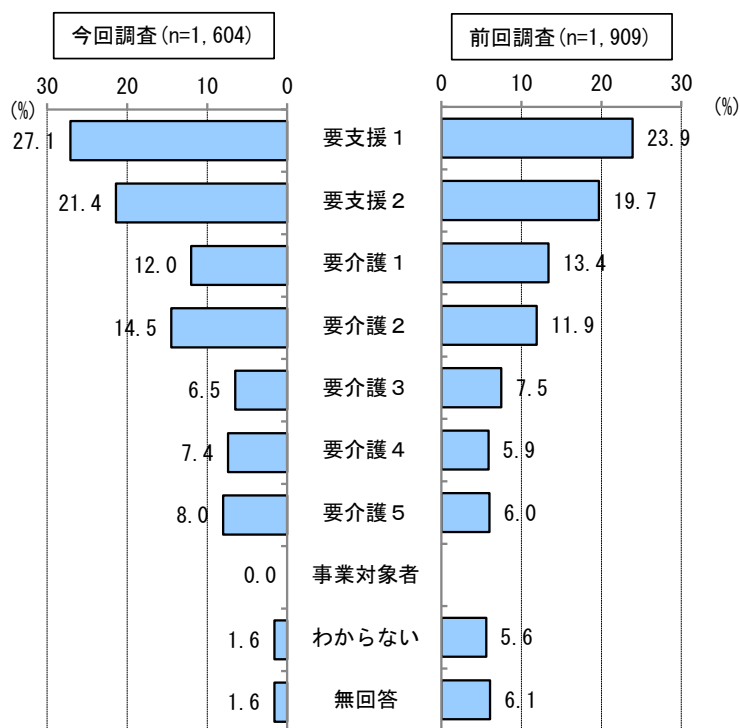
要介護認定の有無では、「受けている」が82.3%、「受けていない」が14.6%となっている。(図3)

### 問3-1 要介護度

【問3で「1 いる」と回答された方におうかがいします。】

要介護度に○をつけてください。(○はひとつ)

【図3-1 要介護度（経年比較）】



要介護認定を受けていると回答した人に、要介護度をたずねると、「要支援1」が27.1%で最も多く、次いで「要支援2」が21.4%、「要介護2」が14.5%となっている。

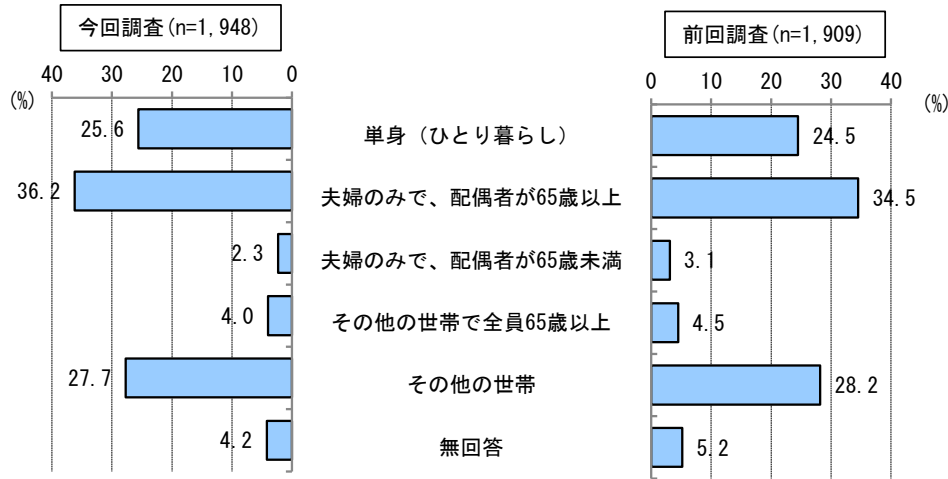
前回調査と比較すると、「要支援1」の割合が3.2ポイント高くなっている。(図3)

## (2) 世帯の状況

### 問4 世帯状況

あなたと同居されているご家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

【図4 世帯状況（経年比較）】

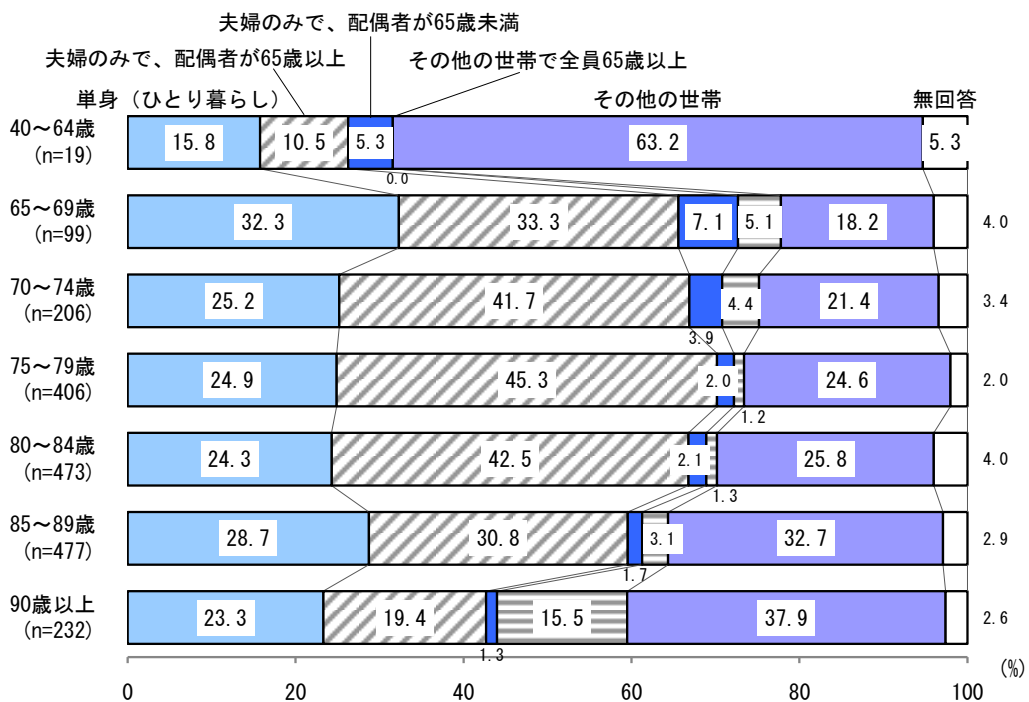


世帯状況では、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が36.2%で最も多く、次いで「その他の世帯」が27.7%、「単身 (ひとり暮らし)」が25.6%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図4)

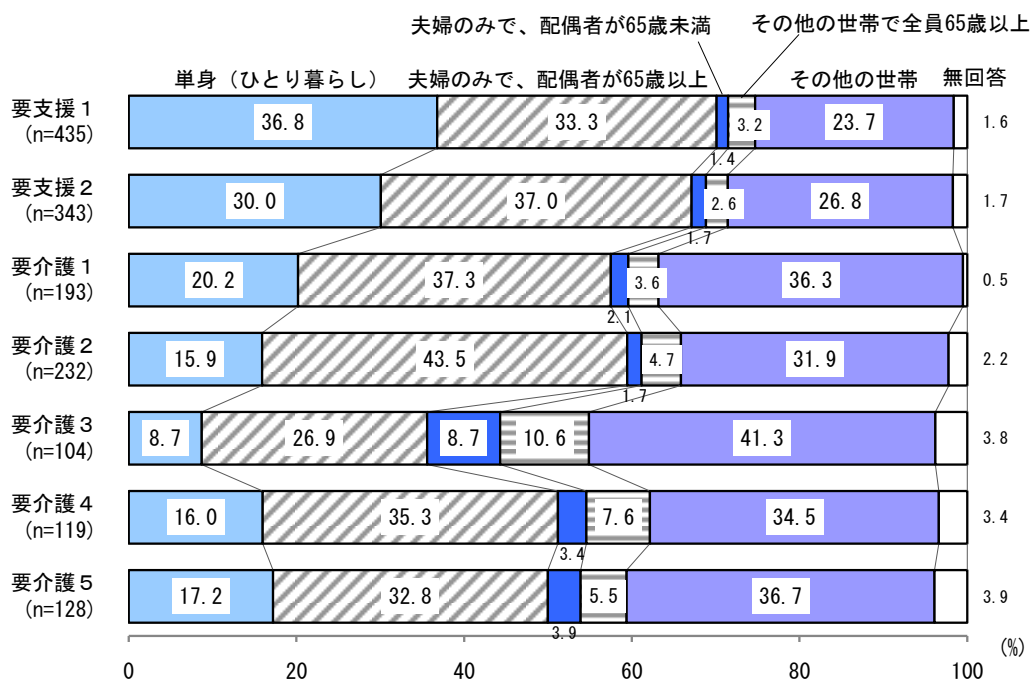
本人の年齢別で見ると、40～64歳は「その他の世帯」が最も多く、「単身 (ひとり暮らし)」は15.8%となっている。65～84歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多いが、65～69歳では「単身 (ひとり暮らし)」の割合が32.3%で他の年代に比べ高くなっている。85歳以降の各年代では「その他の世帯」が最も多く、90歳以上では「その他の世帯で全員65歳以上」の割合が15.5%と他の年代に比べ高くなっている。(図4-a)

【図4-a 世帯状況（本人の年齢別）】



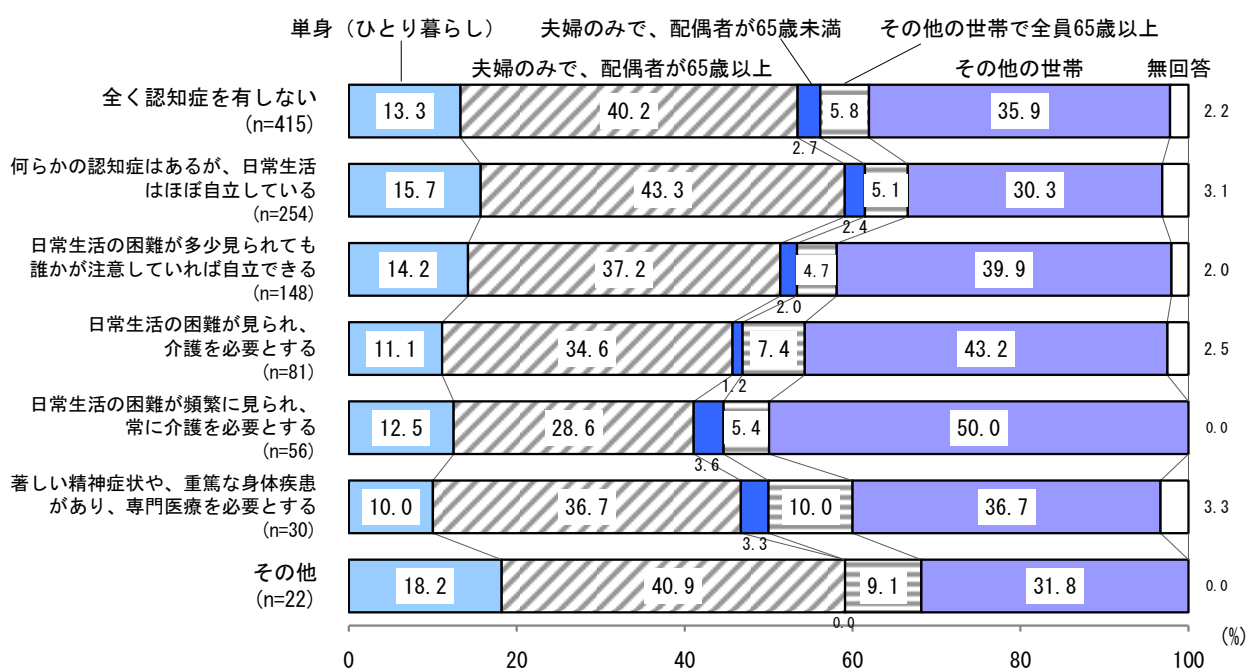
要介護度別でみると、要支援1は「単身（ひとり暮らし）」が36.8%で最も多い。要支援2と要介護1・2は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多く、「単身（ひとり暮らし）」の割合は重度になるほど低くなっている。要介護3では「その他の世帯」が41.3%で最も多く、「その他の世帯で全員65歳以上」の割合が10.6%と他の要介護度に比べ高くなっている。要介護4は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」（35.3%）。要介護5は「その他の世帯」（36.7%）が、それぞれ最も多くなっており、どちらも「単身（ひとり暮らし）」の割合が2割弱となっている。（図4-b）

【図4-b 世帯状況（要介護度別）】



本人の認知症の程度別でみると、重度になるほど「その他の世帯」の割合が高くなり、「単身（ひとり暮らし）」や夫婦のみ世帯の割合は低くなる傾向がみられる。（図4-c）

【図4-c 世帯状況（本人の認知症の程度別）】

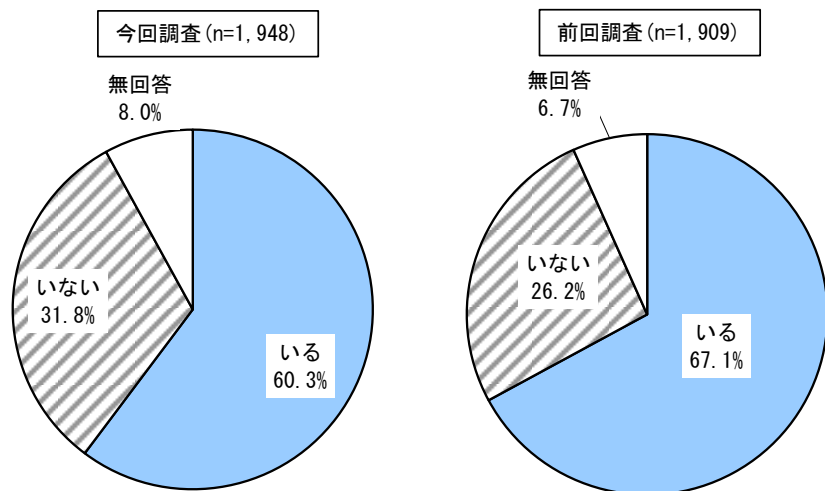




問5 介護者の有無

あなたの介護をする方はいますか。(〇はひとつ)

【図5 介護者の有無（経年比較）】

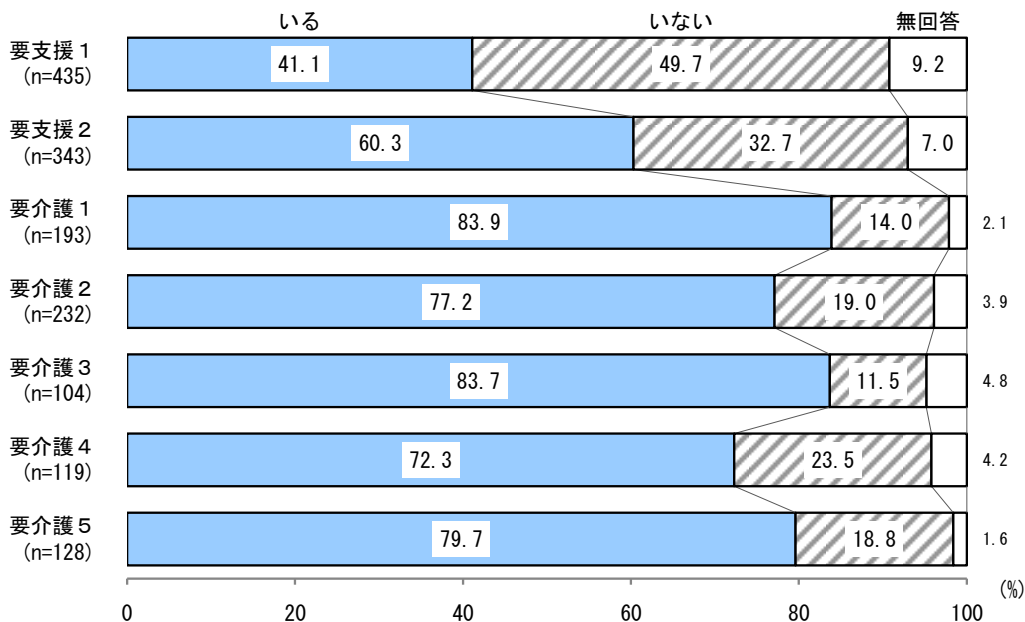


介護者の有無では、「いる」が60.3%、「いない」が31.8%となっている。

前回調査と比較すると、「いる」の割合が6.8ポイント低くなっている。(図5)

要介護度別で見ると、要支援1は「いない」のほうが多くなっているが、要支援2と要介護1～5は「いる」のほうが多く、要介護1～5では7～8割台を占めている。(図5-a)

【図5-a 介護者の有無（要介護度別）】

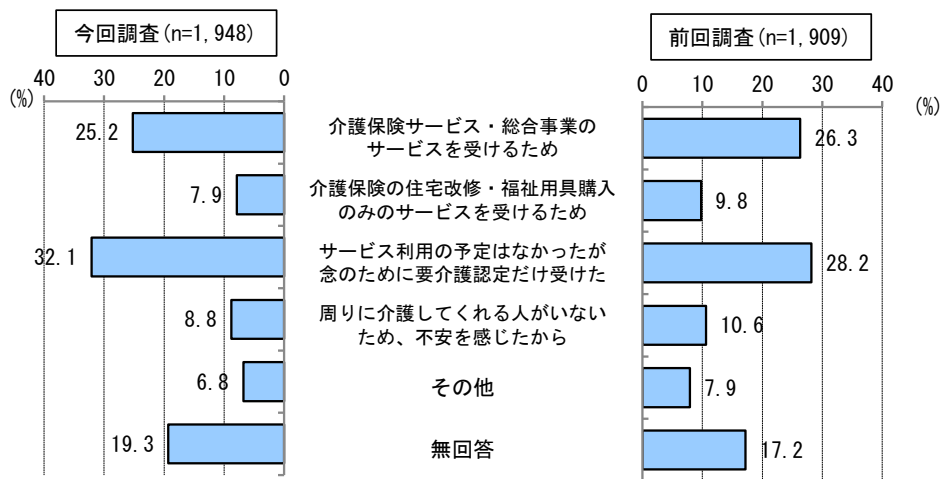


### (3) 要介護認定

#### 問6 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

【図6 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



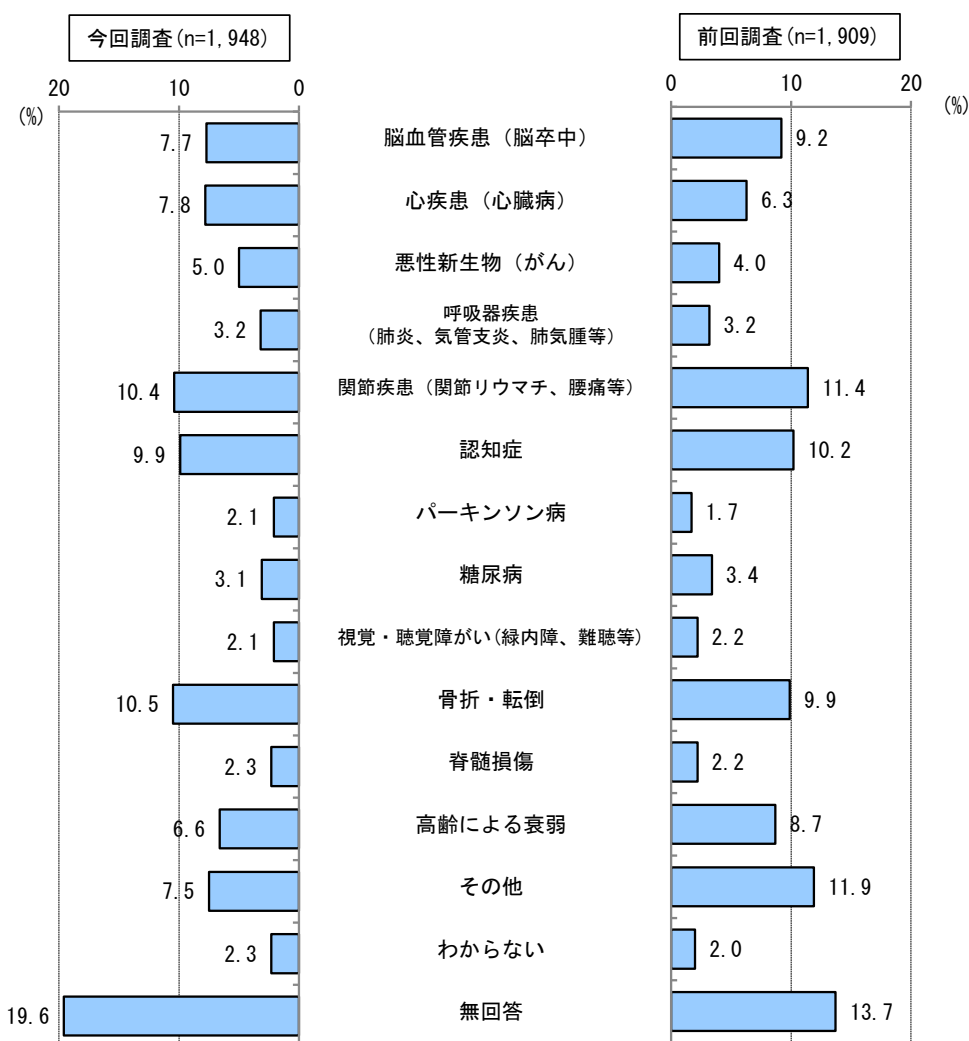
初めて要介護認定を受けた時の目的については、「サービス利用の予定はなかったが念のために要介護認定だけ受けた」が32.1%で最も多く、次いで「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため」が25.2%となっている。

前回調査と比較すると、「サービス利用の予定はなかったが念のために要介護認定だけ受けた」の割合が3.9ポイント高くなっている。(図6)

問6-1 介護認定を受けた主な原因や病気

問6の目的以外に介護認定を受けた主な原因や病気は何ですか。(〇はひとつ)

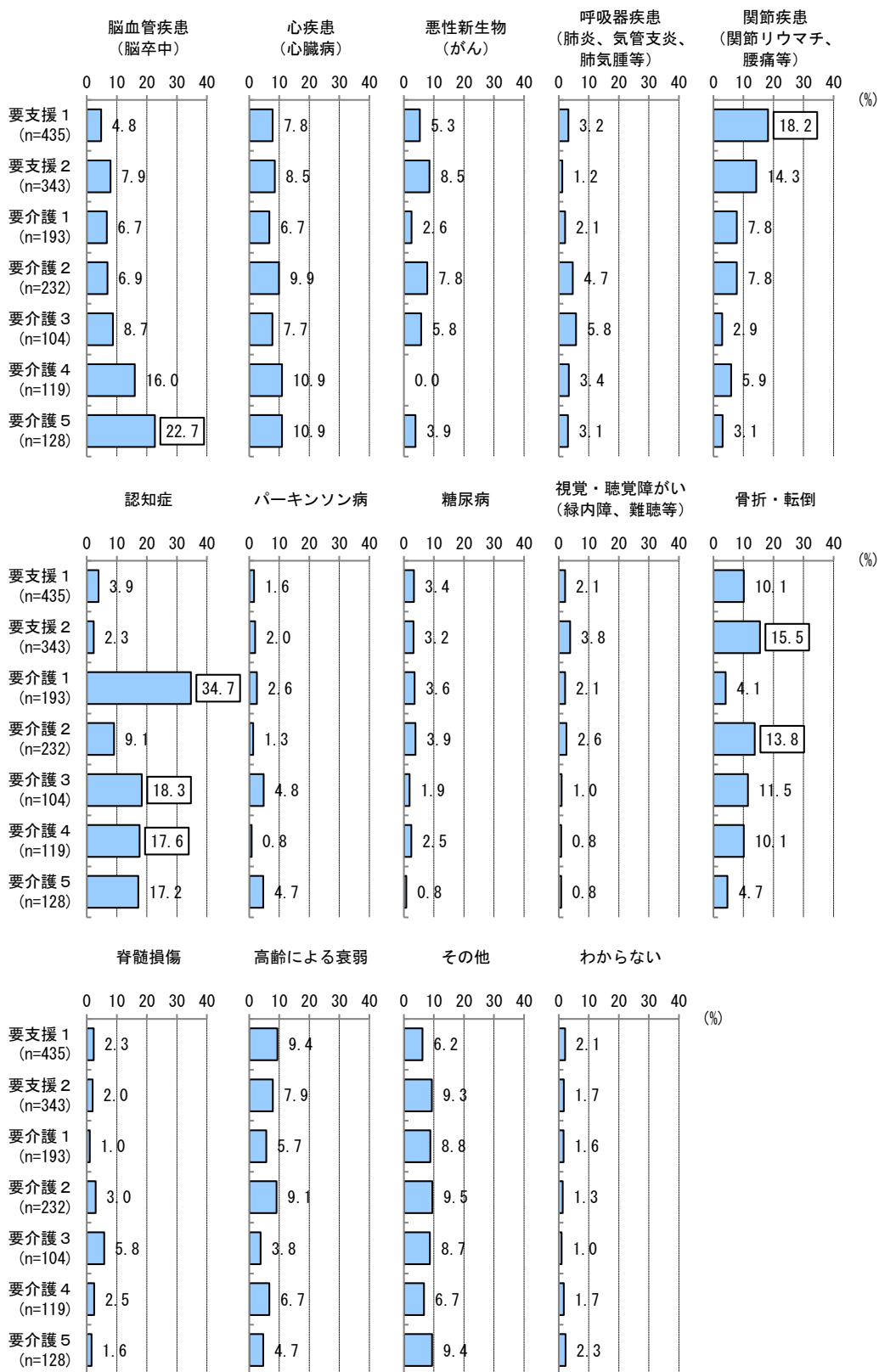
【図6-1 介護認定を受けた主な原因や病気（経年比較）】



介護認定を受けた主な原因や病気については、「骨折・転倒」が10.5%で最も多く、次いで「関節疾患（関節リウマチ、腰痛等）」が10.4%、「認知症」が9.9%となっている。前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。（図6-1）

要介護度別でみると、要支援1は「関節疾患（関節リウマチ、腰痛等）」が最も多く、軽度のほうが高い割合になっている。要支援2と要介護2は「骨折・転倒」、要介護1・3・4は「認知症」が、それぞれ最も多くなっており、要介護1の「認知症」の割合は34.7%と他の要介護度に比べ高くなっている。要介護5では「脳血管疾患（脳卒中）」が最も多く、重度になるほど高い割合になっている。（図6-1-a）

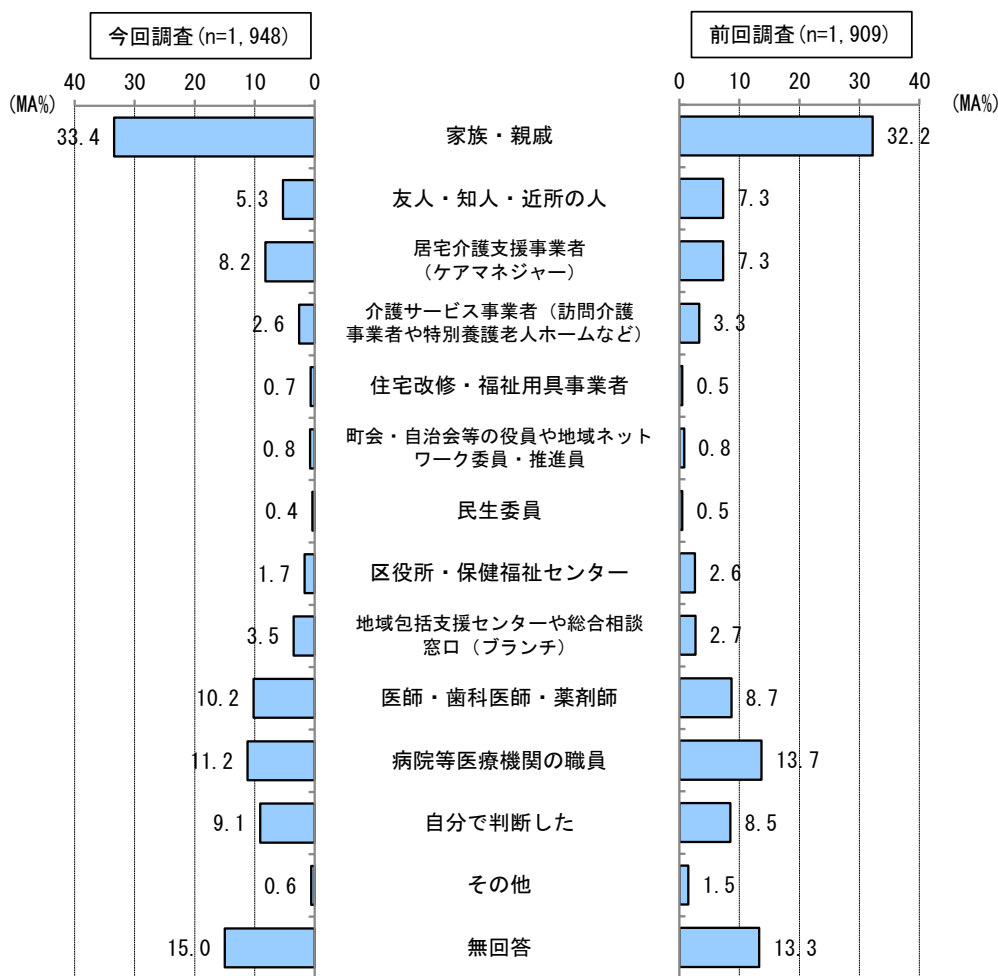
【図6-1-a 介護認定を受けた主な原因や病気（要介護度別）】



問6-2 要介護認定を受けるよう勧めた人

要介護認定を受けるよう勧めたのは誰ですか。(〇はひとつ)

【図6-2 要介護認定を受けるよう勧めた人（経年比較）】



※複数回答の回答者が多かったため、すべての回答を有効としている。

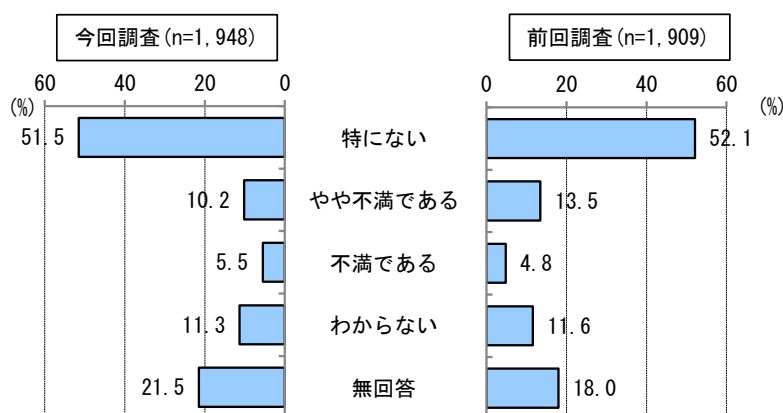
要介護認定を受けるよう勧めた人については、「家族・親戚」が33.4%で最も多く、次いで「病院等医療機関の職員」が11.2%、「医師・歯科医師・薬剤師」が10.2%となっている。

前回調査と比較すると、「病院等医療機関の職員」の割合が2.5ポイント減少している。(図6-2)

## 問7 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(○はひとつ)

【図7 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】

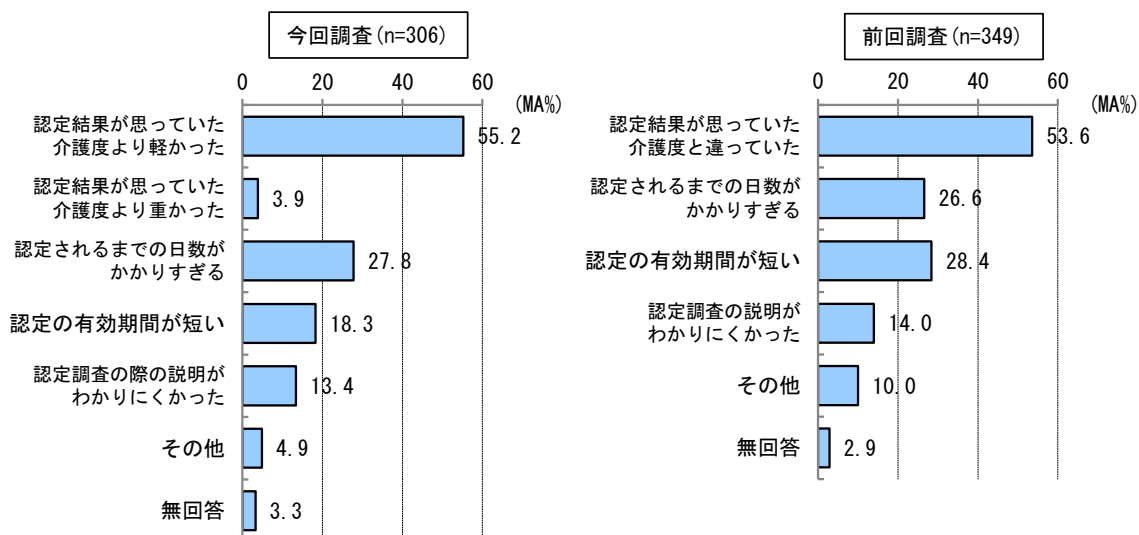


直近の要介護認定で不満があったかについては、「特にない」が51.5%で最も多く、次いで「やや不満である」が10.2%となっている。また「わからない」は11.3%となっている。前回調査と比較すると、「やや不満である」の割合が3.3ポイント低くなっている。(図7)

### 問7-1 要介護度認定を受けた時の不満な理由

【問7で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。】その理由についてお答えください。(○はいくつでも)

【図7-1 要介護認定を受けた時の不満な理由（経年比較）】



要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」が55.2%で最も多く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が27.8%と、「認定の有効期間が短い」が18.3%となっている。

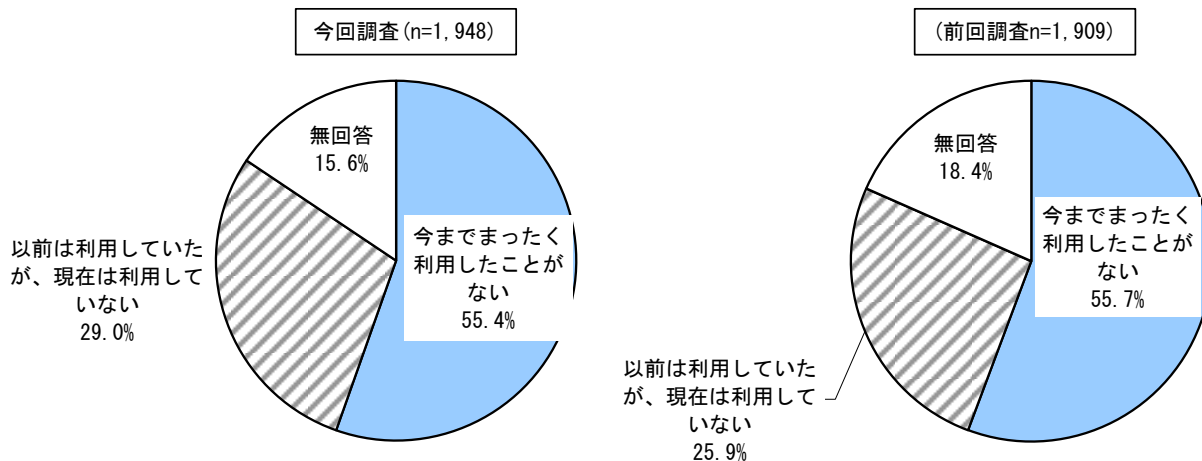
前回調査と設問項目が異なるため一概には比較できないが、認定の介護度への不満が多いという傾向は変わらない。(図7-1)

#### (4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

##### 問8 介護保険サービスの利用状況

あなたの介護保険サービスの利用状況について、おうかがいします。(○はひとつ)

【図8 介護保険サービスの利用状況（経年比較）】

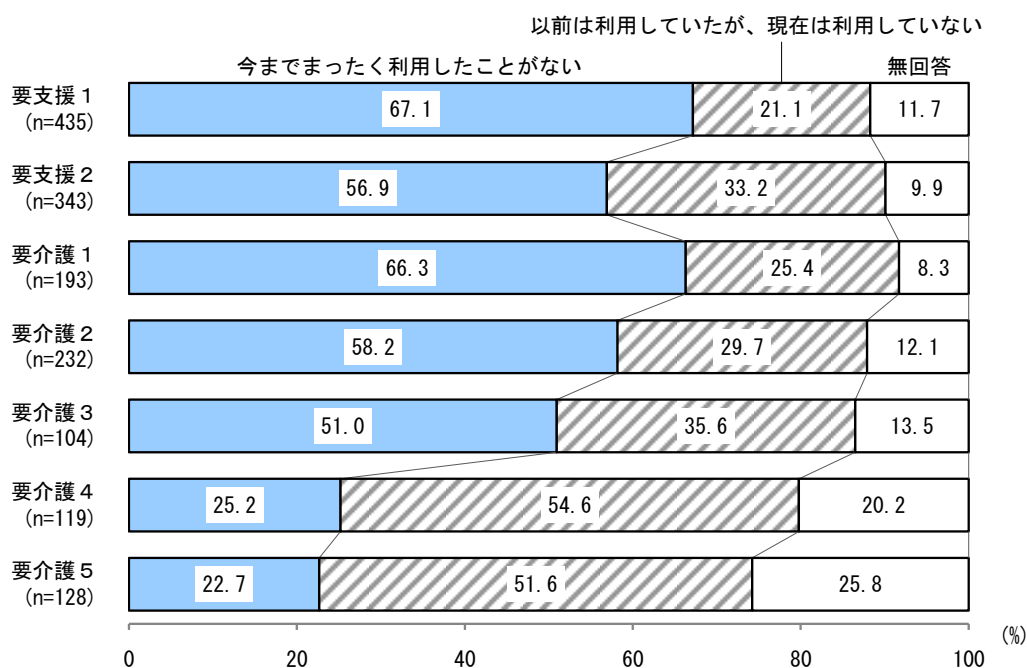


介護保険サービスの利用状況については、「今までまったく利用したことがない」が55.4%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が29.0%となっている。

前回調査と比較すると、「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合が3.1ポイント高くなっている。(図8)

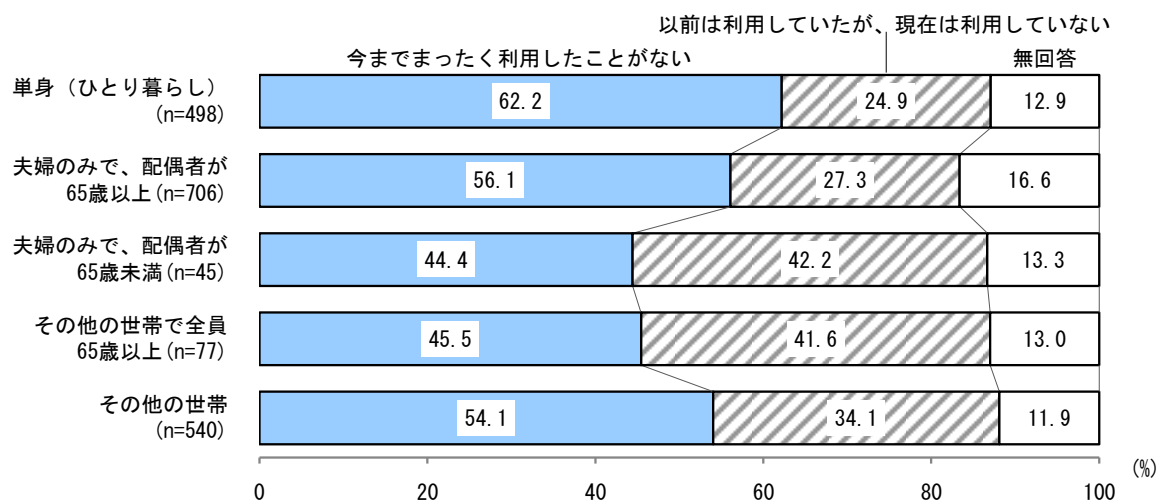
要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1～3は「今までまったく利用したことがない」が5～6割台を占めている。要介護4・5では「以前は利用していたが、現在は利用していない」が5割台となっている。(図8-a)

【図8-a 介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】



世帯状況別で見ると、いずれの世帯も「今までまったく利用したことがない」が最も多く、特に単身（ひとり暮らし）世帯が62.2%と他の世帯に比べ高い割合になっている。一方、「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合では、配偶者が65歳未満の夫婦のみ世帯と、全員65歳以上のその他世帯が、4割台を占めている。（図8-b）

【図8-b 介護保険サービスの利用状況（世帯状況別）】



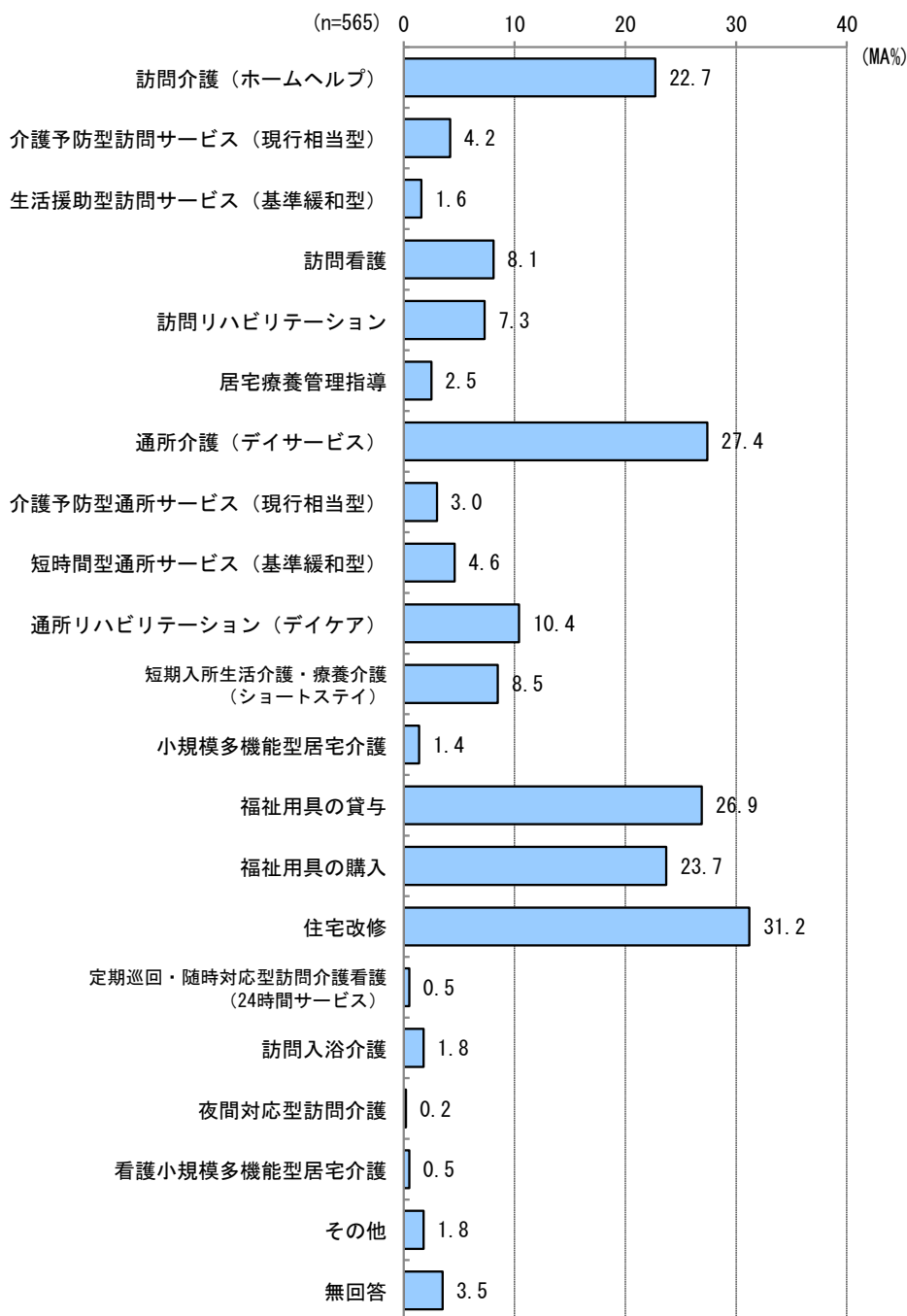


問 8-1 以前利用していた介護保険サービス

【問 8 で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答された方におうかがいします。】

以前はどのようなサービスを利用していましたか。(〇はいくつでも)

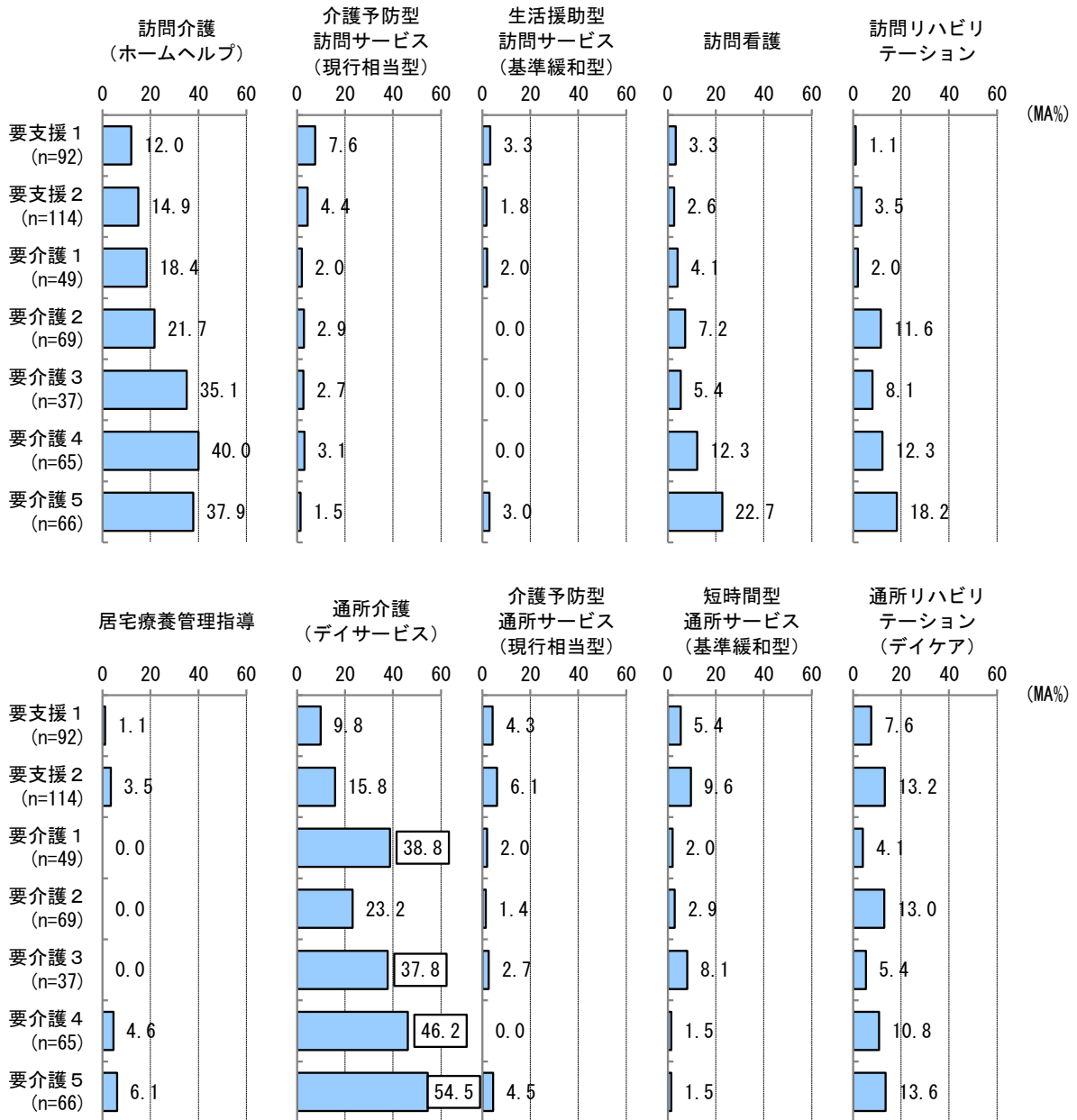
【図8-1 以前利用していた介護保険サービス】



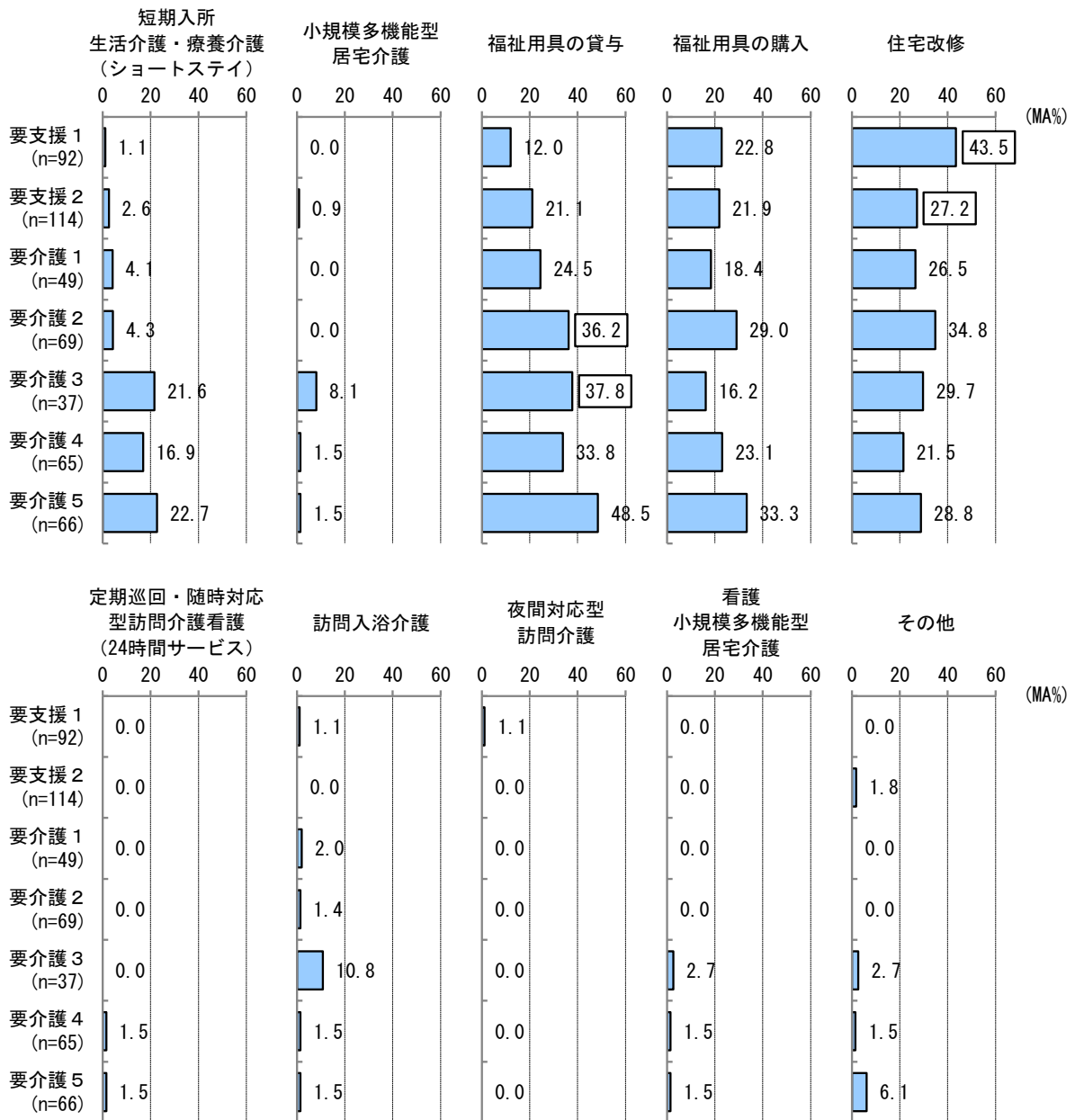
介護保険サービスを以前は利用していたが、現在は利用していないと回答した人に、以前利用していたサービスをたずねると、「住宅改修」が31.2%で最も多く、次いで「通所介護 (デイサービス)」が27.4%、「福祉用具の貸与」が26.9%となっている。(図8-1)

要介護度別でみると、要支援1・2は「住宅改修」が最も多く、特に要支援1は43.5%と他の要介護度に比べ高い割合になっている。要介護1と要介護3～5は「通所介護（デイサービス）」が最も多くなっている。要介護2は「福祉用具の貸与」が最も多く、要介護3では同率で最も多い。また、要介護3～5では「訪問介護（ホームヘルプ）」「通所介護（デイサービス）」「短期入所生活介護・療育介護（ショートステイ）」の割合が、軽度の要介護度に比べ高くなっている。（図8-1-a）

【図8-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）①】



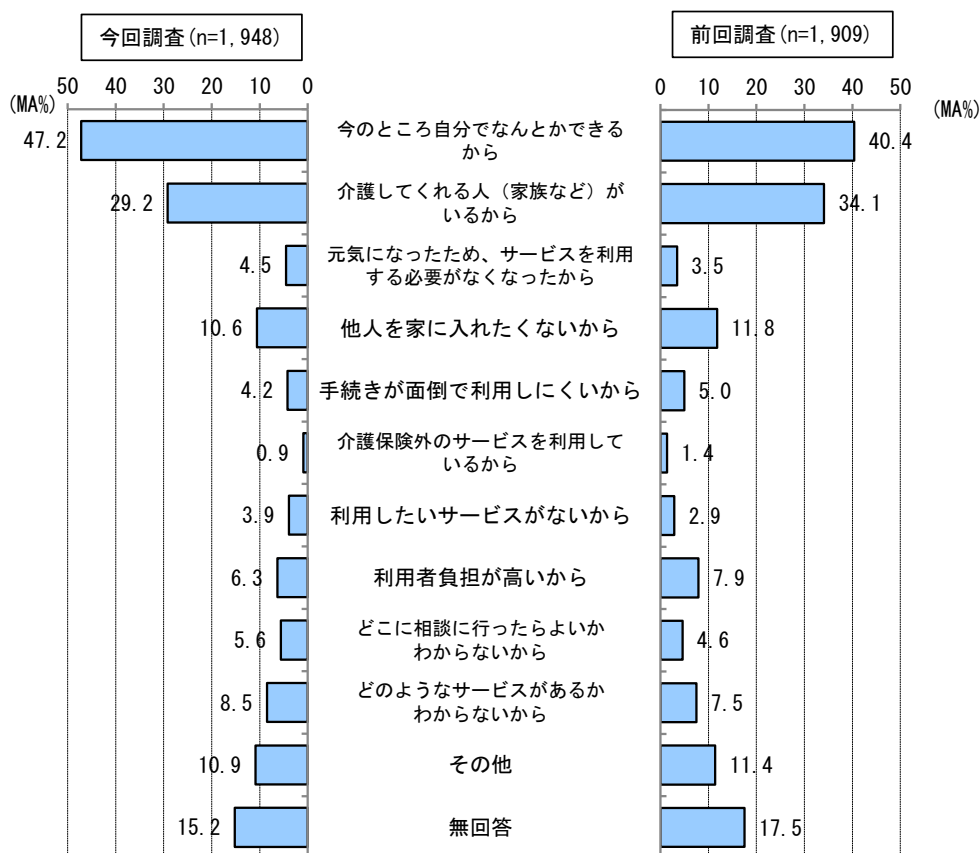
【図8-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）②】



問9 現在、介護保険サービスを利用していない理由

あなたが介護保険サービスを、現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図9 現在、介護保険サービスを利用していない理由（経年比較）】

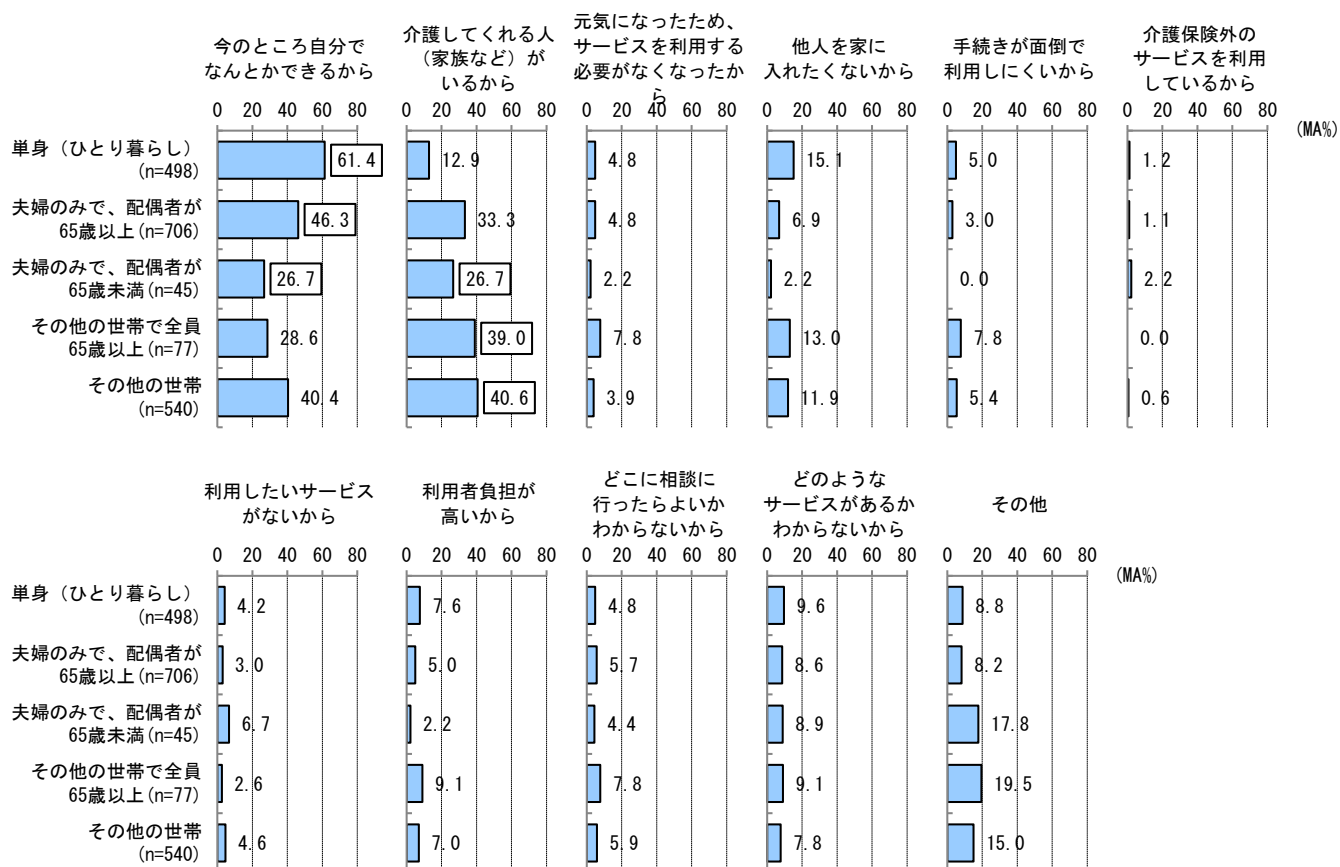


現在、介護保険サービスを利用していない理由については、「今のところ自分でなんとかできるから」が47.2%で最も多く、次いで「介護してくれる人(家族など)がいるから」が29.2%となっている。

前回調査と比較すると、「今のところ自分でなんとかできるから」の割合が6.8ポイント高くなっている。また「介護してくれる人(家族など)がいるから」の割合が4.9ポイント低くなっている。(図9)

世帯状況別でみると、単身（ひとり暮らし）世帯や、65歳以上の夫婦のみ世帯は「今のところ自分でなんとかできるから」が最も多く、特に単身（ひとり暮らし）世帯は61.4%と高い割合になっている。配偶者が65歳未満の夫婦のみ世帯は「今のところ自分でなんとかできるから」と「介護してくれる人（家族など）がいるから」が同率で最も多く、全員65歳以上のその他世帯と、その他の世帯では「介護してくれる人（家族など）がいるから」が最も多くなっている。また、単身（ひとり暮らし）世帯では、「介護してくれる人（家族など）がいるから」の割合は12.9%となっている。（図9-a）

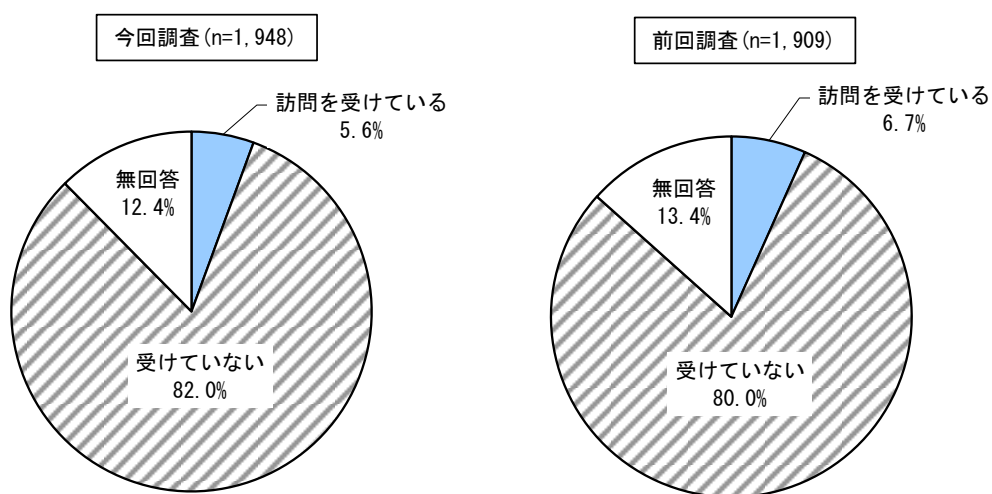
【図9-a 現在、介護保険サービスを利用していない理由（世帯状況別）】



## 問10 医療従事者などの訪問有無

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

【図10 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】

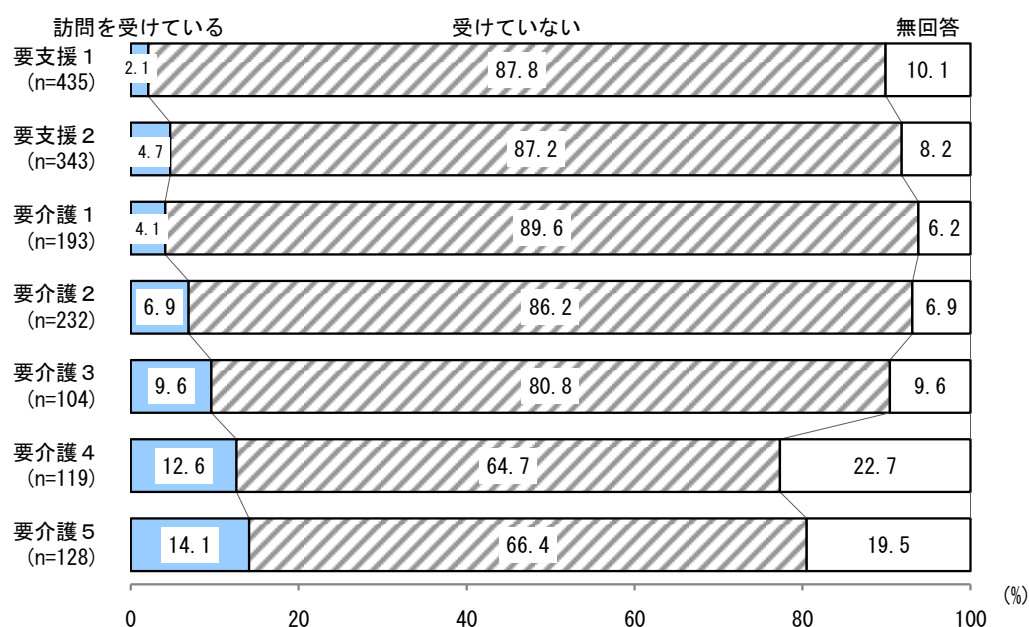


現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が5.6%、「受けていない」が82.0%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図10)

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「受けていない」が過半数を占めているが、重度になるほど「訪問を受けている」の割合が高くなる傾向がみられる。(図10-a)

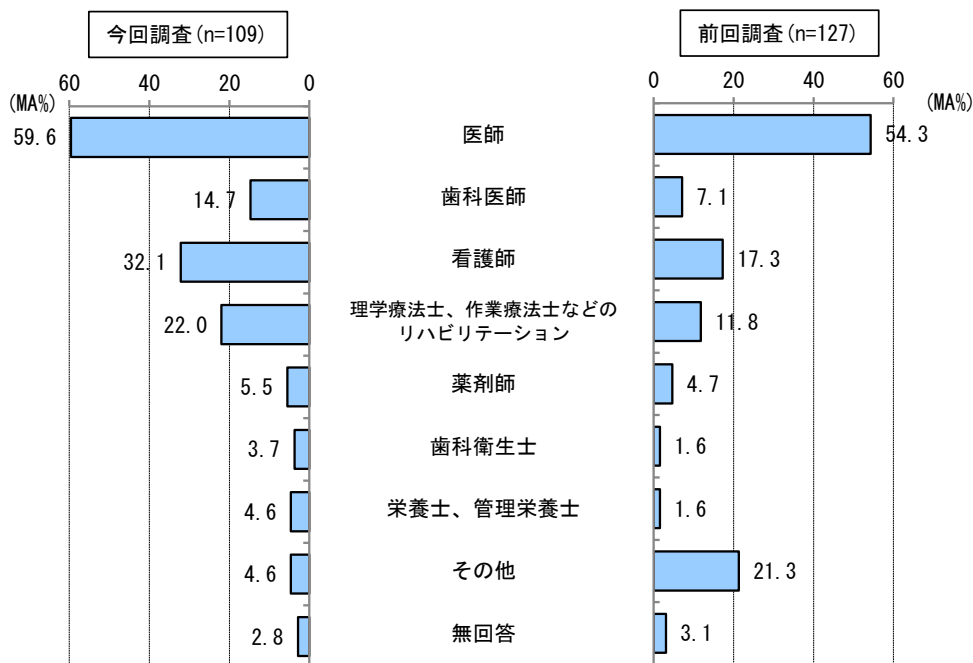
【図10-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



## 問10-1 訪問される医療従事者

【問10で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】  
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

【図10-1 訪問される医療従事者（経年比較）】

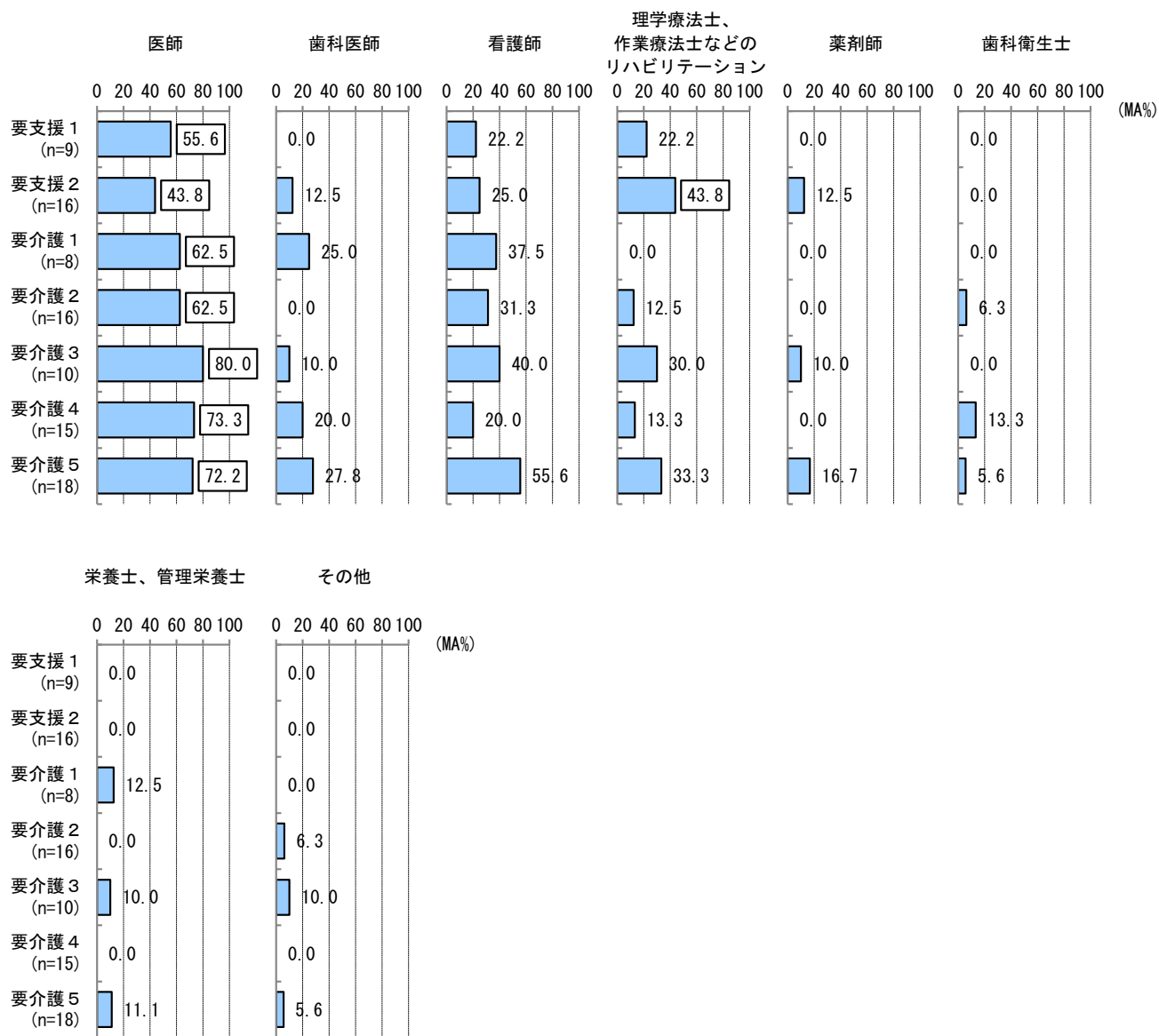


医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「医師」が59.6%で最も多く、次いで「看護師」が32.1%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」が22.0%となっている。

前回調査と比較すると、「看護師」の割合が14.8ポイント、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」の割合が10.2ポイント、それぞれ高くなっている。(図10-1)

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要介護度にかかわらず「医師」が最も多くなっている。また、要支援2は同率で「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」も最も多い。(図10-1-a)

【図10-1-a 訪問される医療従事者（要介護度別）】

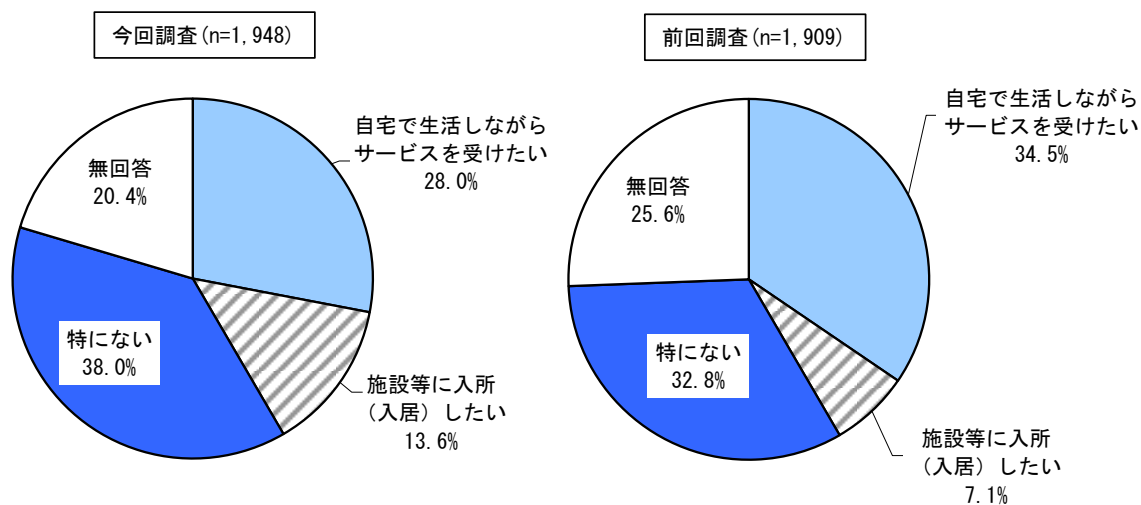




### 問11 介護保険サービスの利用意向

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについてお答えください。(○はひとつ)

【図11 介護保険サービスの利用意向（経年比較）】

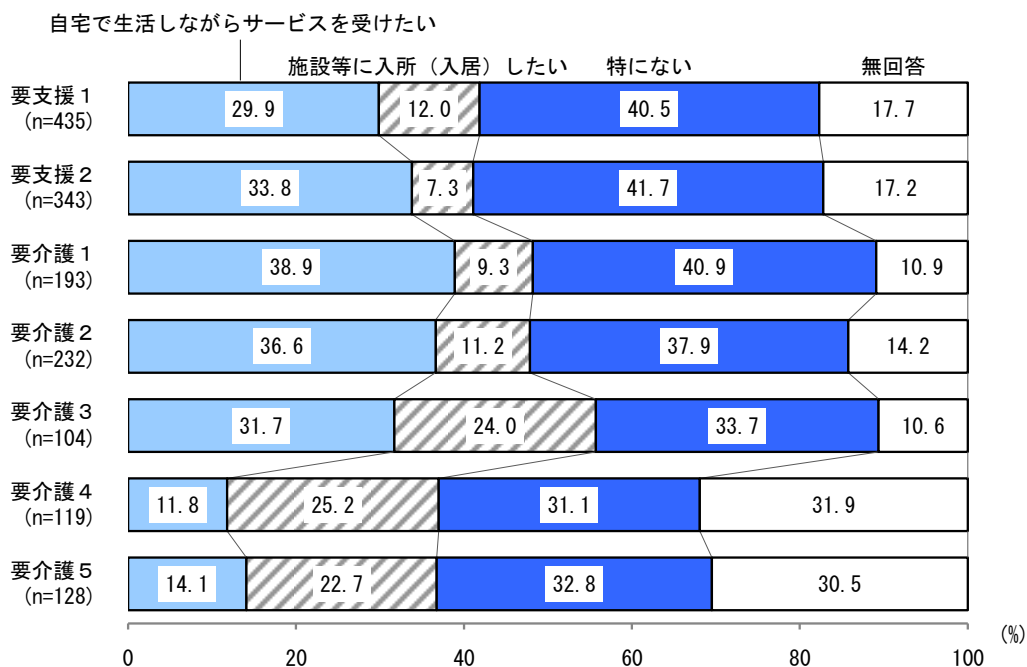


今後、利用したい介護保険サービスについては、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が28.0%、「施設等に入所（入居）したい」が13.6%、「特にない」が38.0%となっている。

前回調査と比較すると、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」と「施設等に入所（入居）したい」の割合がそれぞれ6.5ポイント低くなっている。（図11）

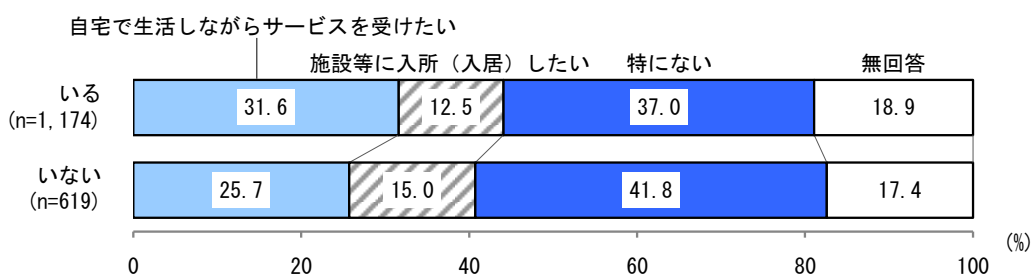
要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「特にない」が最も多くなっているが、要支援1・2と要介護1～3は「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が3割前後、要介護3～5は「施設等に入所（入居）したい」が2割台となっている。（図11-a）

【図11-a 介護保険サービスの利用意向（要介護度別）】



介護者の有無別で見ると、いる・いないにかかわらず「特にない」が最も多いが、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は、介護者がいる人が31.6%、いない人が25.7%で、いる人のほうが5.9ポイント高くなっている。（図11-b）

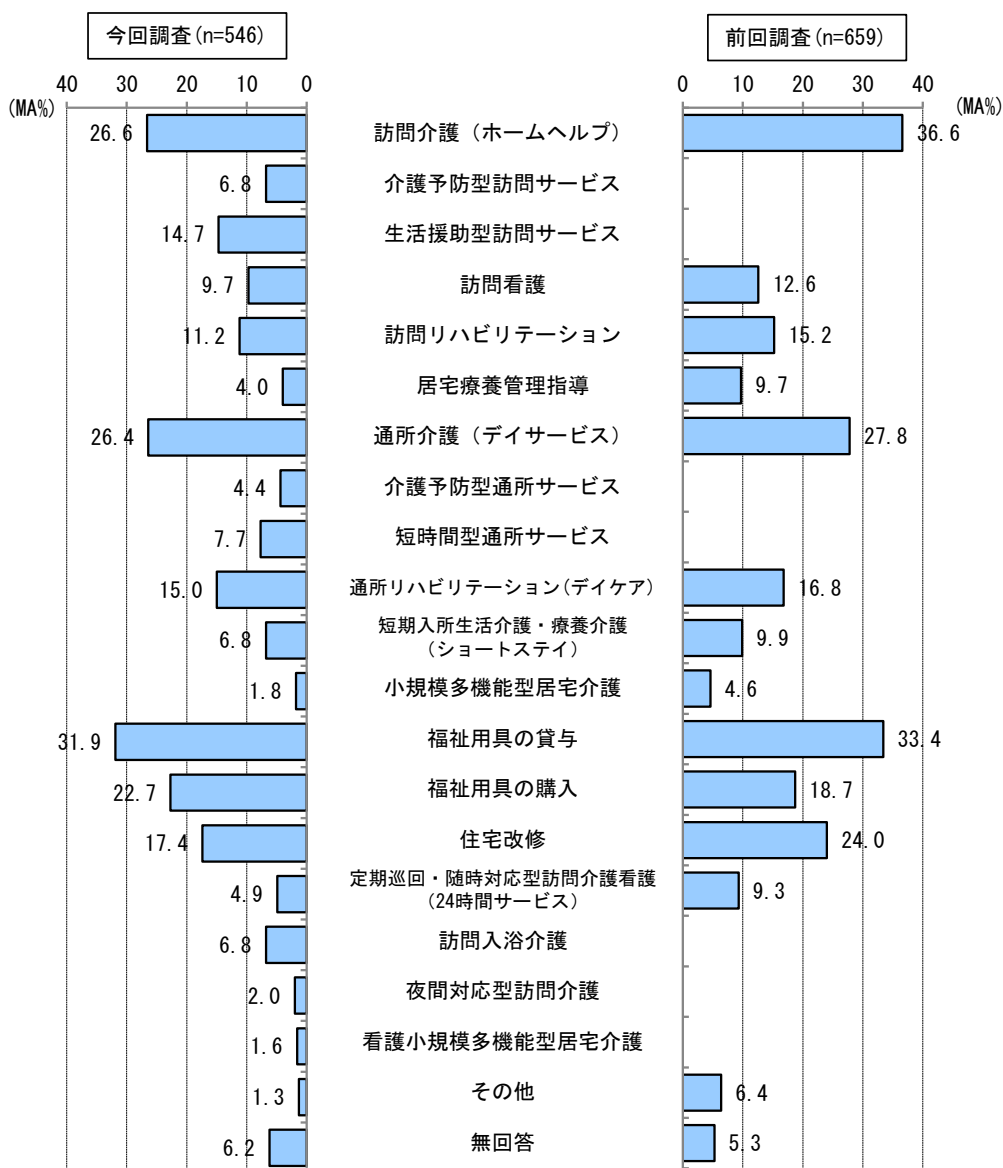
【図11-b 介護保険サービスの利用意向（介護者の有無別）】



## 問12 利用したい居宅サービス

【問11で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。】  
 あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【図12 利用したい居宅サービス（経年比較）】



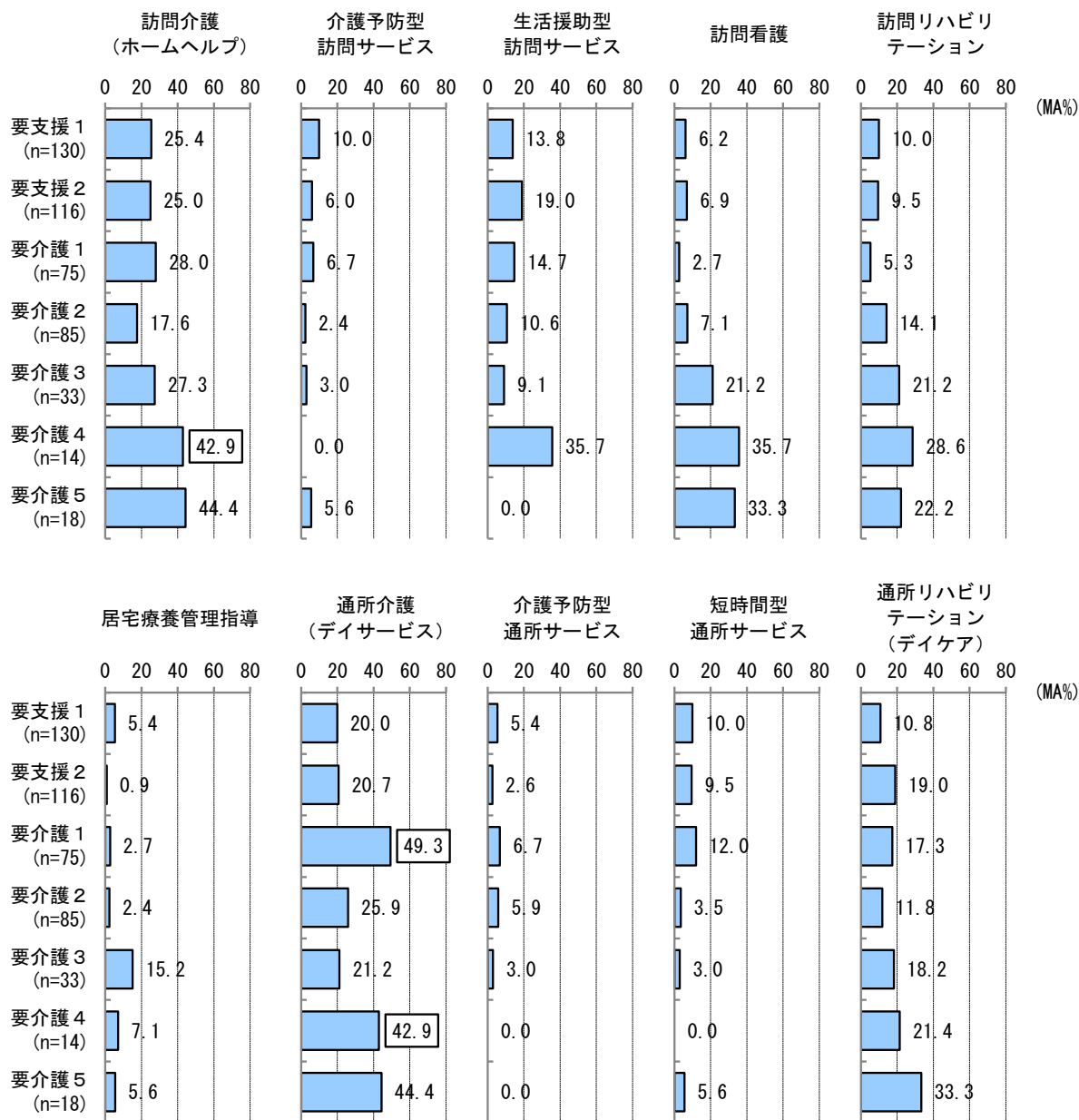
※「介護予防型訪問サービス」「生活援助型訪問サービス」「介護予防型通所サービス」「短時間型通所サービス」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」は、今回調査の新規項目である。

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、今後、利用したい居宅サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が31.9%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が26.6%、「通所介護（デイサービス）」が26.4%となっている。

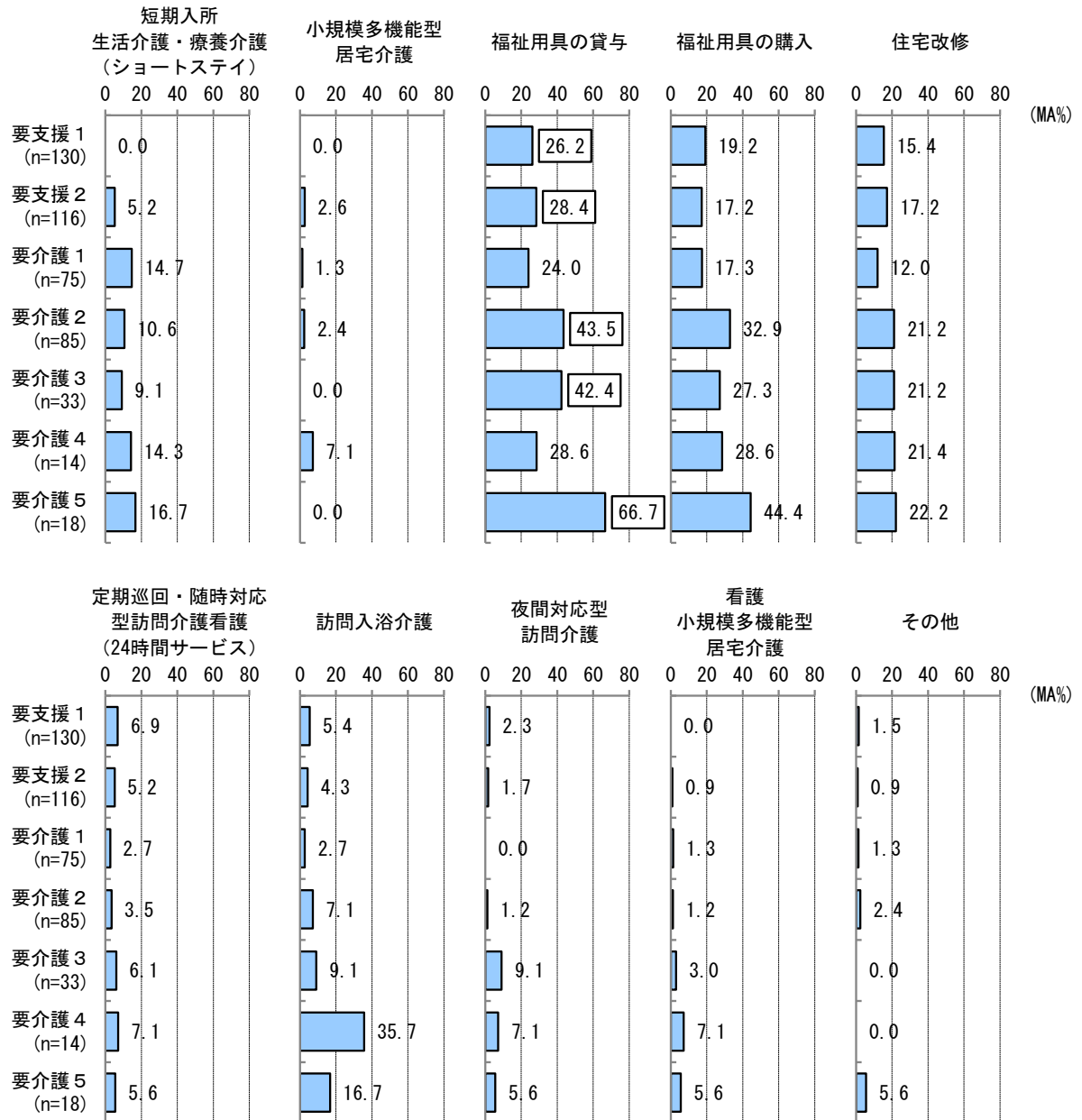
前回調査と設問項目が異なるため一概には比較できないが、上記3つが多い傾向は変わらない。(図12)

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護2・3・5は「福祉用具の貸与」が最も多くなっている。要介護1・4は「通所介護（デイサービス）」が最も多く、特に要介護1は49.3%と他の要介護度に比べ高い割合になっており、また要介護4では同率で「訪問介護（ホームヘルプ）」も最も多くなっている。（図12-a）

【図12-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）①】



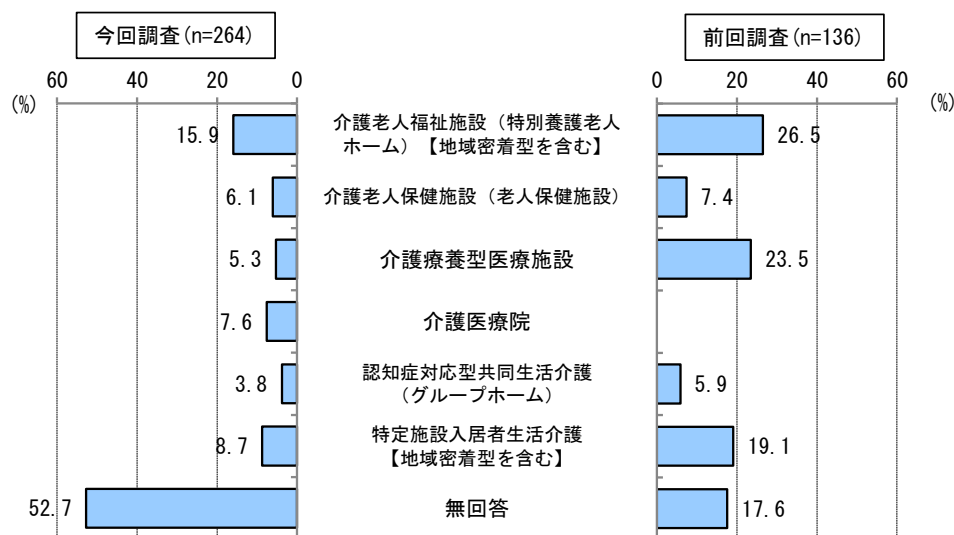
【図12-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）②】



### 問13 利用したい施設サービス

【問11で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。  
 あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

【図13 利用したい施設サービス（経年比較）】



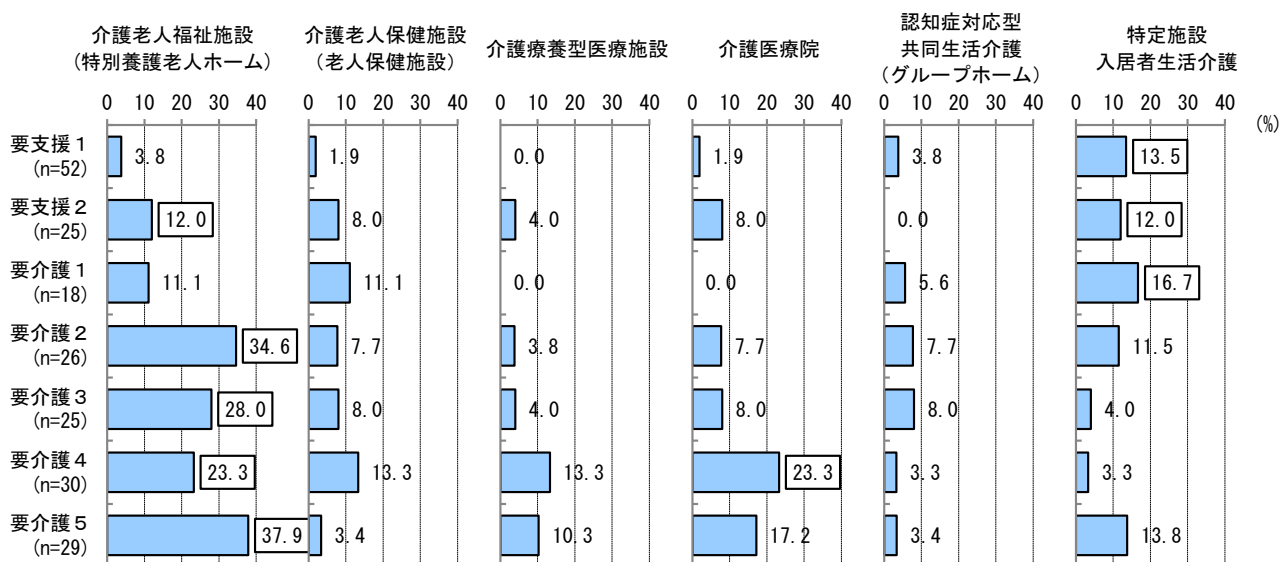
※「介護医療院」は、今回調査の新規項目である。

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、今後、利用したい施設サービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が15.9%で最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護」が9.8%、「介護医療院」が7.6%となっている。

前回調査と比較すると、「介護療養型医療施設」の割合が18.2ポイント、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が10.6ポイントそれぞれ低くなっている。（図13）

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要支援1・2と要介護1は「特定施設入居者生活介護」の割合が高い傾向にあり、要介護2～5は「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が高い傾向にある。また、要介護4では「介護医療院」の割合も高くなっている。（図13-a）

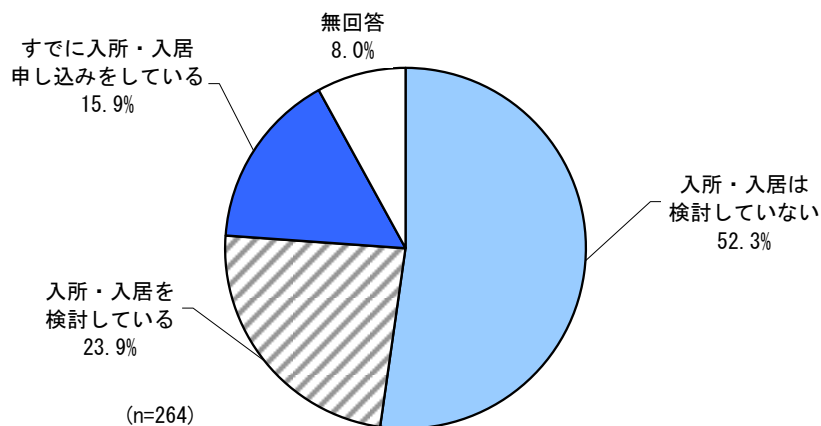
【図13-a 利用したい施設サービス（要介護度別）】



#### 問14 現時点での施設等への入所・入居の検討状況

【問11で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。】  
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。（○はひとつ）

【図14 現時点での施設等への入所・入居の検討状況】



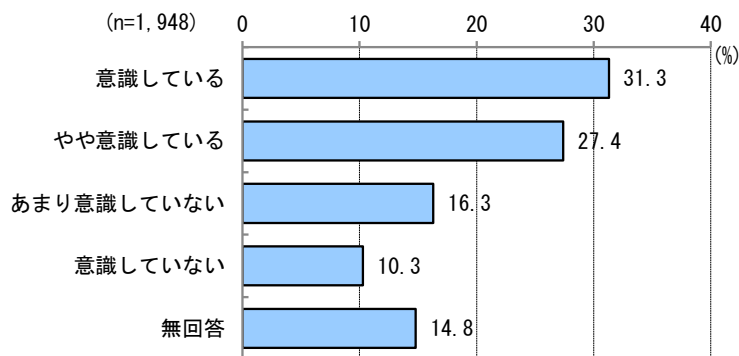
施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現時点での検討状況をたずねると、「入所・入居は検討していない」が52.3%、「入所・入居を検討している」23.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が15.9%となっている。（図14）

## (5) 介護予防の取り組み

### 問15 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(〇はひとつ)

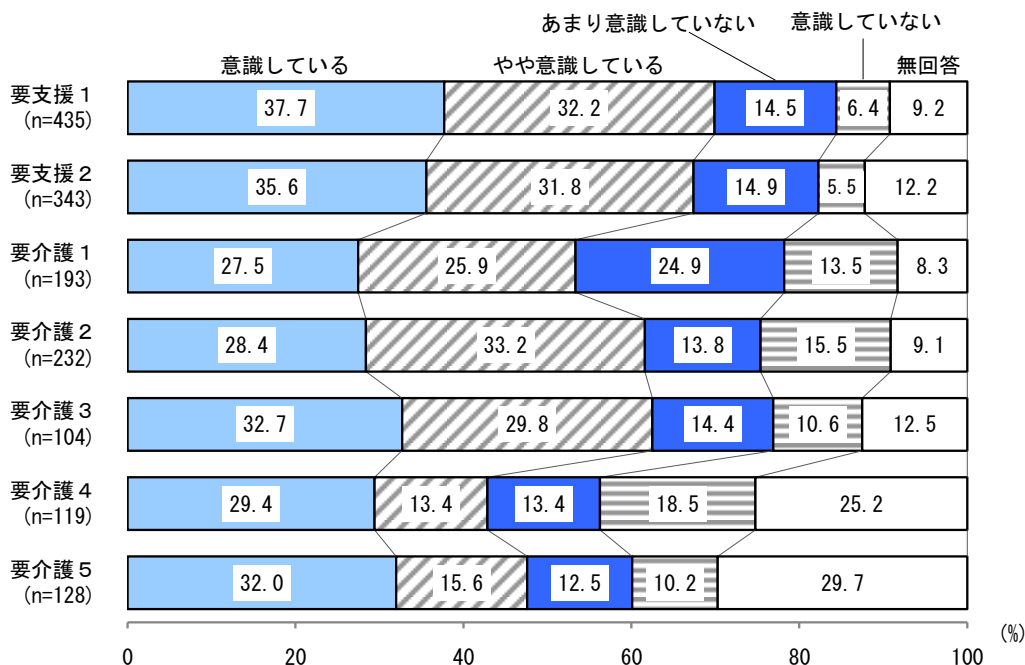
【図15 介護予防に対する意識の程度】



介護予防に対してどれほど意識しているかについては、「意識している」が31.3%で最も多く、次いで「やや意識している」が27.4%となっており、両者を合わせると58.7%の人が、介護予防に対して意識をしている。(図15)

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「意識している」の割合が高く、介護予防に対して意識をしている割合は、要支援1・2と要介護1～3は5～6割台を占めているが、要介護4・5では4割台と比較的に低くなっている。(図15-a)

【図15-a 介護予防に対する意識の程度 (要介護度別)】

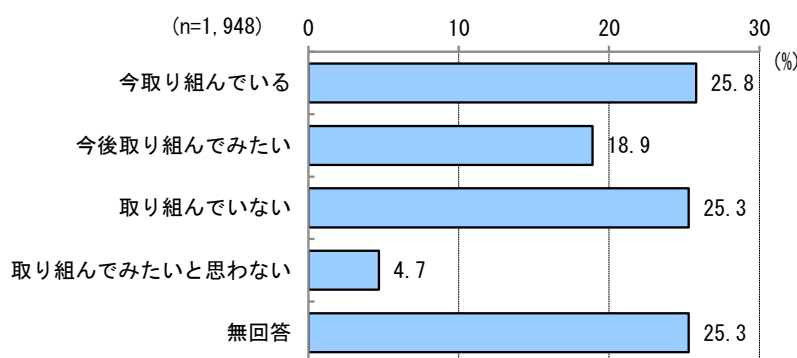




問16 介護予防の取り組み状況

介護予防への取り組みについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

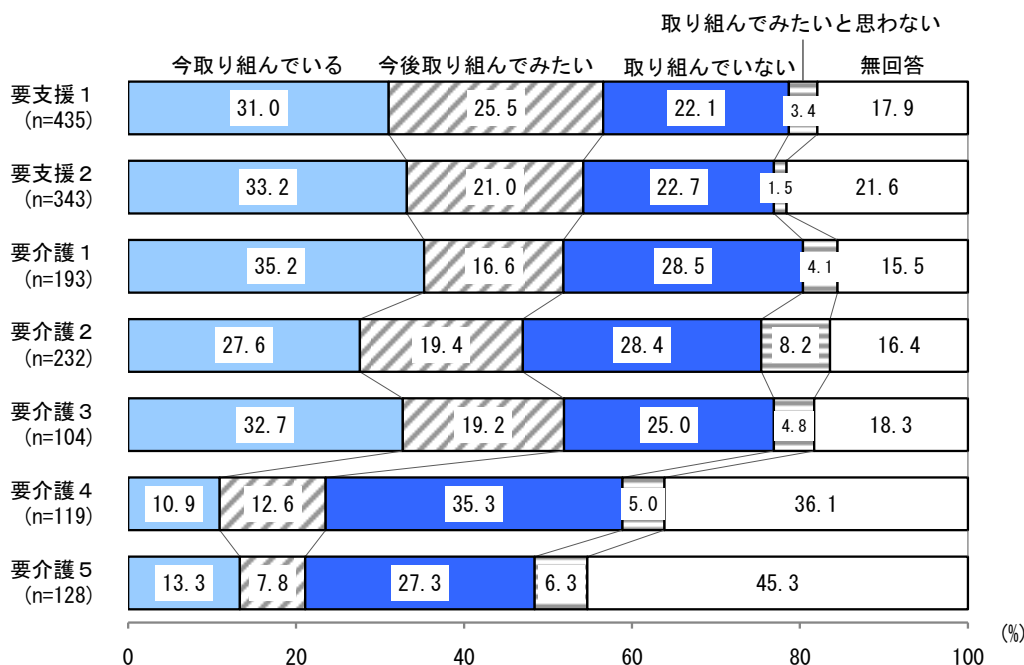
【図16 介護予防の取り組み状況】



介護予防の取り組み状況については、「今取り組んでいる」が25.8%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が25.3%、「今後取り組んでみたい」が18.9%となっている。(図16)

要介護度別でみると、「今取り組んでいる」の割合は、要支援1・2と要介護1～3で3割前後を占めているが、要介護4・5では1割台と比較的に低くなっている。また、「今後取り組んでみたい」の割合では、軽度になるほど高くなる傾向にあり、要支援1・2では2割台となっている。(図16-a)

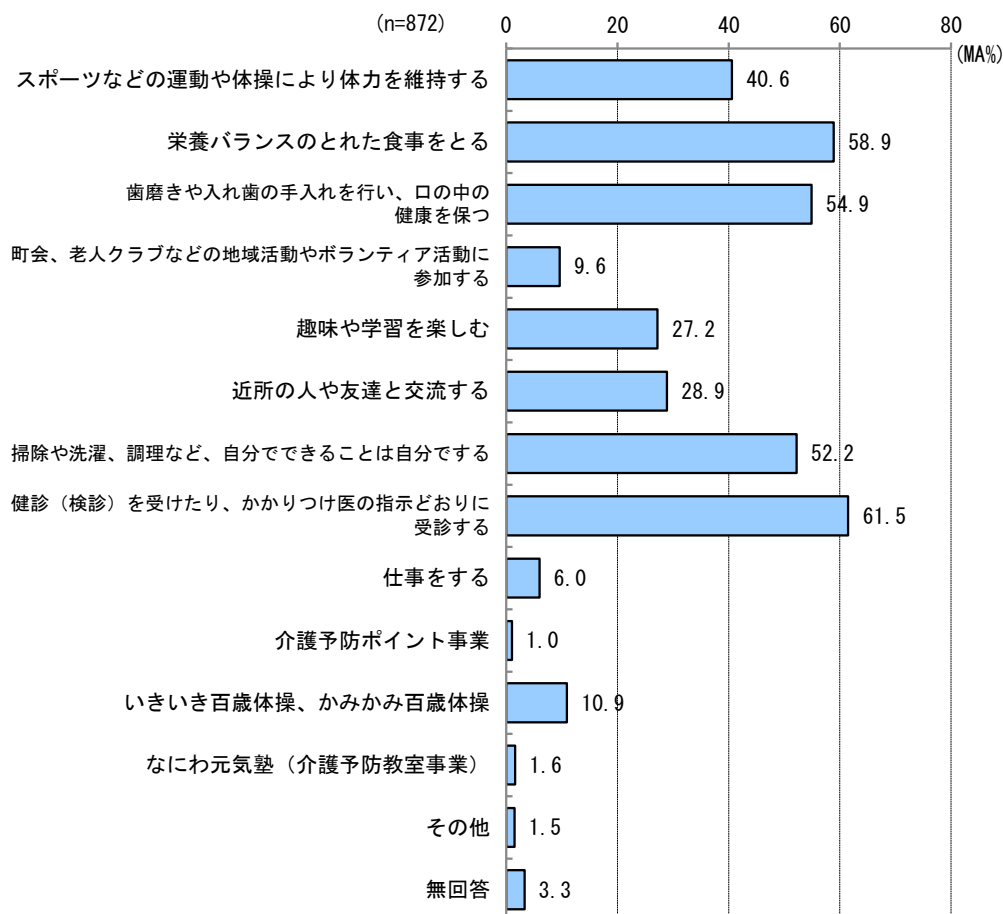
【図16-a 介護予防の取り組み状況（要介護度別）】



問16-1 取り組み意向のある介護予防

【問16で「1 今取り組んでいる」「2 今後取り組んでみたい」と回答された方におうかがいします。  
あなたが、今取り組んでいること、または、今後取り組んでみたいことは何ですか。  
(〇はいくつでも)

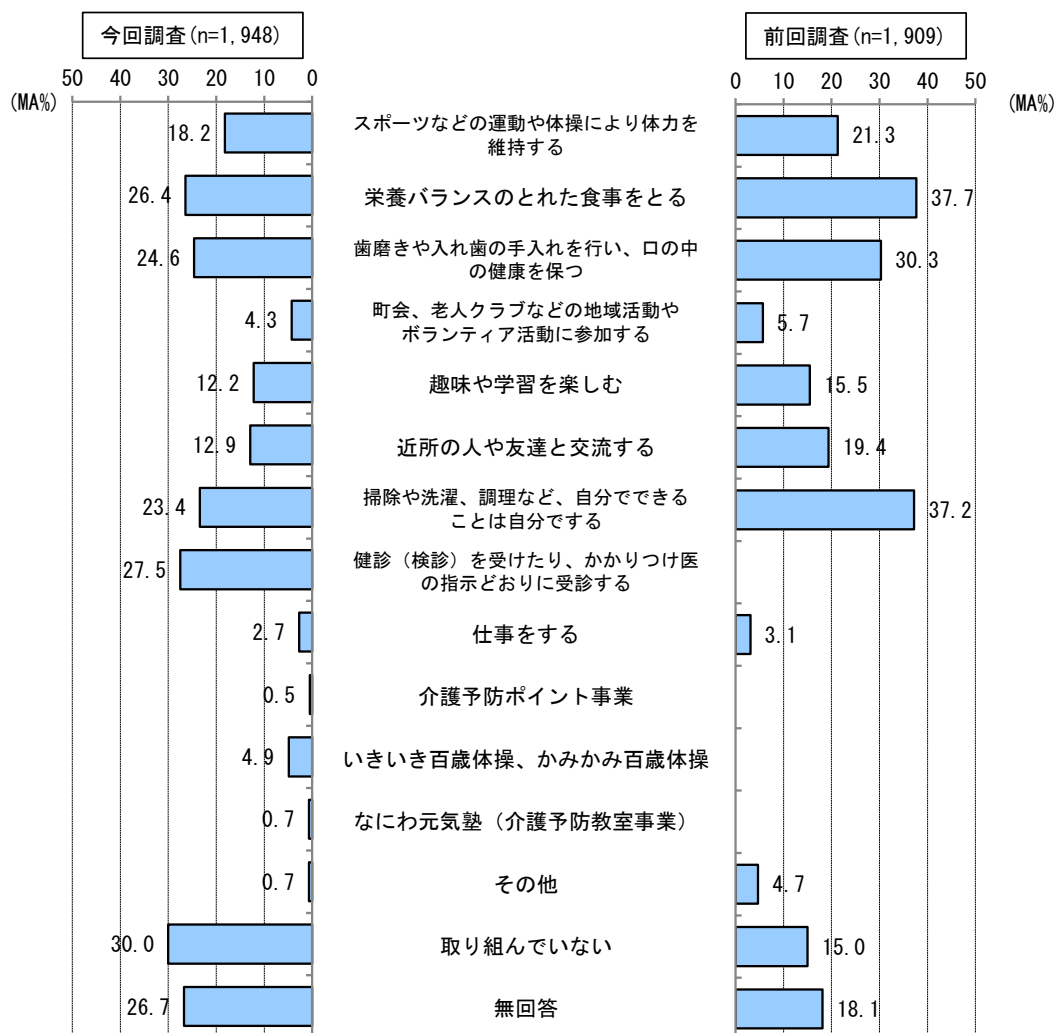
【図16-1 取り組み意向のある介護予防】



介護予防を、今取り組んでいる、または今後取り組んでみたいと回答した人に、その介護予防をたずねると、「健診(検診)を受けたり、かかりつけ医の指示どおり受診する」が61.5%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が58.9%、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が54.9%となっている。(図16-1)

前回調査では設問形式がことなるので一概に比較はできないが、参考としてみると、「取り組んでいない」の割合は15.0ポイント高くなっており、「栄養バランスのとれた食事をとる」と「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が特に低くなっている。  
(図16-1-a)

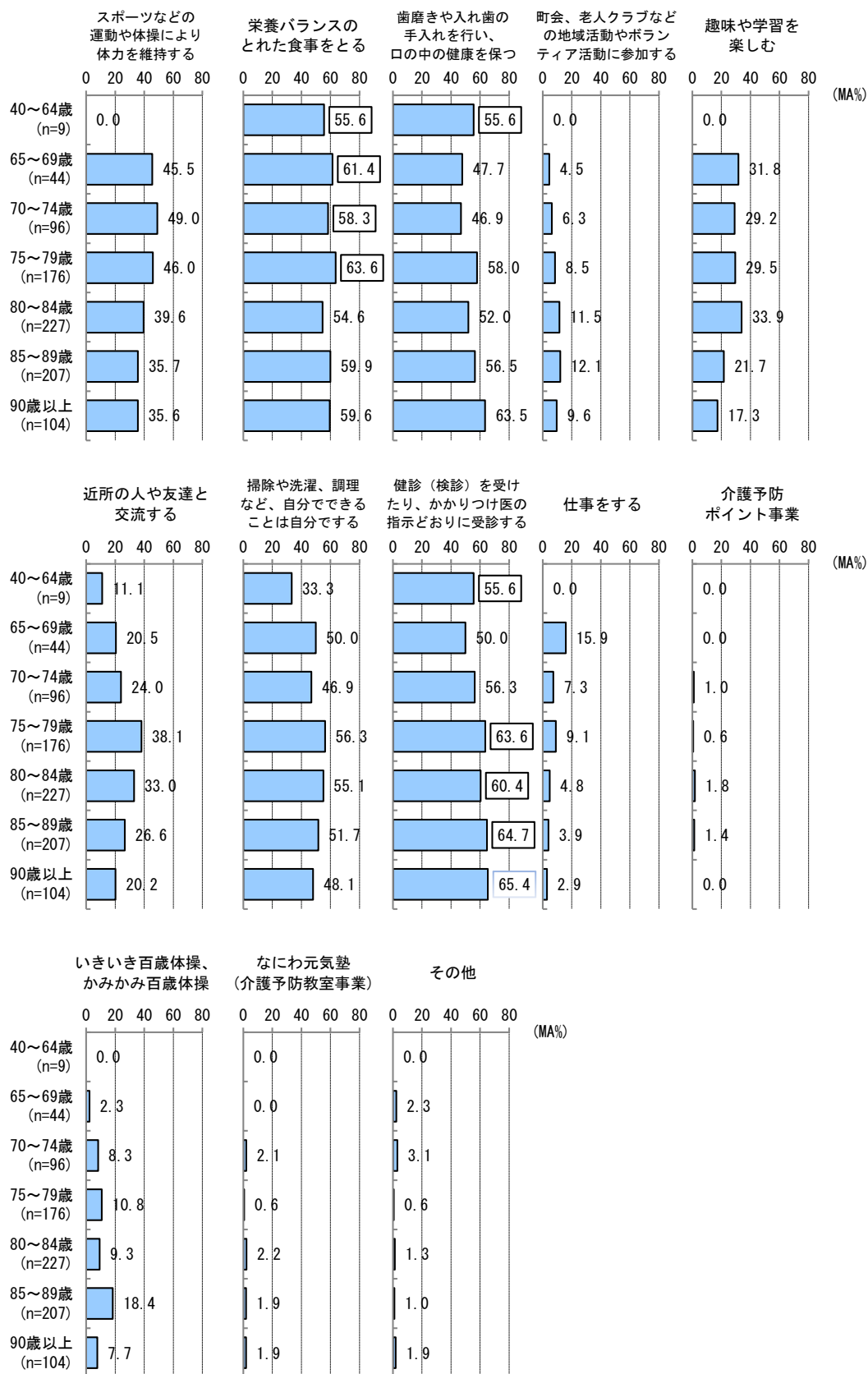
【図16-1-a 取り組み意向のある介護予防（経年比較）】



※「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」「介護予防ポイント事業」「いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操」「なにわ元気塾（介護予防教室事業）」は、今回調査の新規項目である。「取り組んでいない」は、今回調査の問16「3 取り組んでいない」と「4 取り組んでみたいと思わない」の和とする。

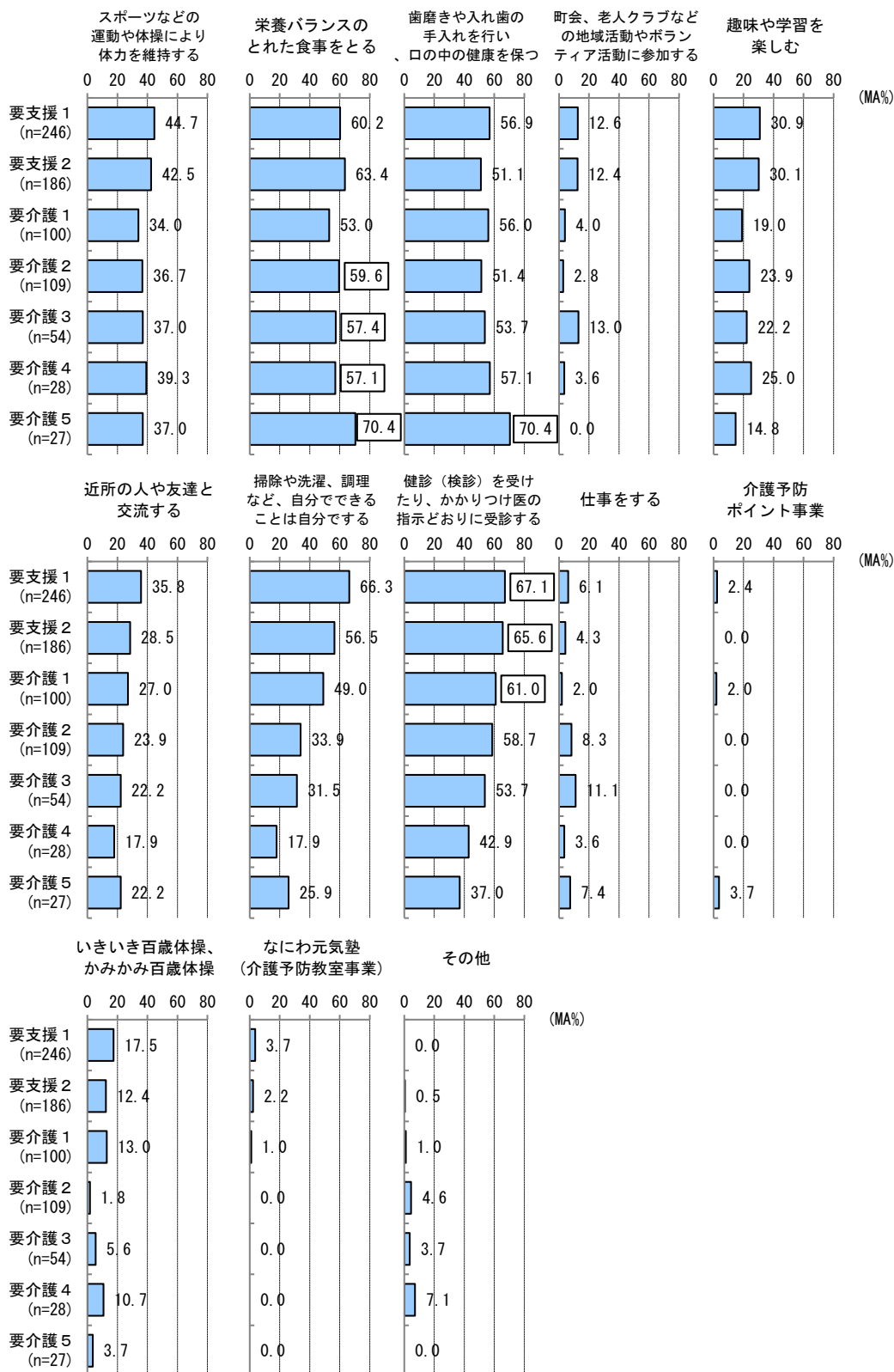
本人の年齢別でみると、40～64歳の母数は少ないので除くが、65～79歳の各年代は「栄養バランスのとれた食事をとる」が最も多く、75歳以降の各年代は「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」が最も多くなっており、75～79歳は両方の項目が同率となっている。（図16-1-b）

【図16-1-b 取り組み意向のある介護予防（本人の年齢別）】



要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1は「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」、要介護2～5は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、それぞれ最も多く、要介護5では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い口の中の健康を保つ」も同率で最も多くなっている。また、重度になるほど「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」と「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」の割合が低くなる傾向にある。（図16-1-c）

【図16-1-c 取り組み意向のある介護予防（要介護度別）】

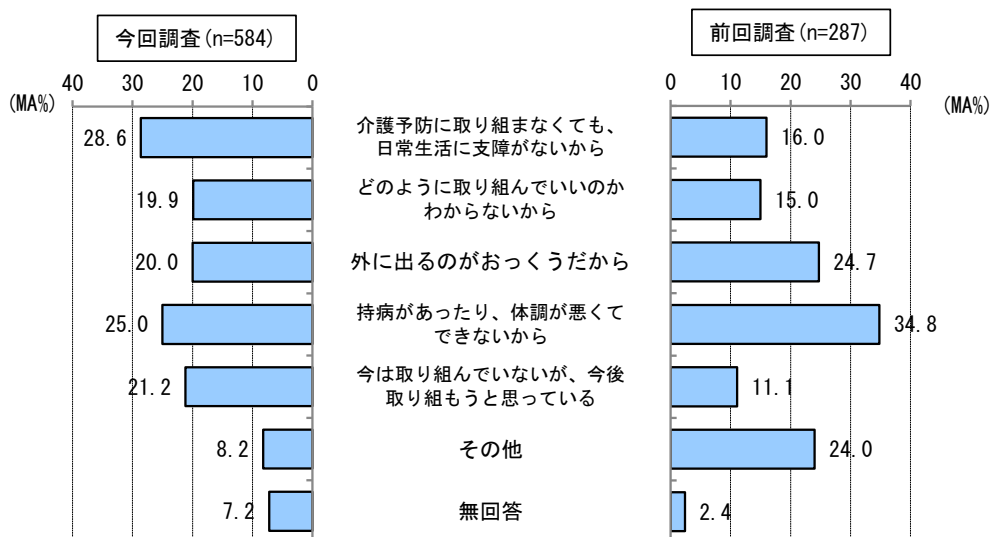


## 問16-2 介護予防の取り組みに意向がない理由

【問16で「3 取り組んでいない」「4 取り組んでみたいと思わない」と回答された方におうかがいします。】

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図16-2 介護予防の取り組みに意向がない理由（経年比較）】



介護予防に、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が28.6%で最も多く、次いで「持病があったり、体調が悪くてできないから」が25.0%、「今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている」が21.2%となっている。

前回調査と比較すると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が12.6ポイント、「今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている」の割合が10.1ポイント、それぞれ高くなっている。また「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が9.8ポイント低くなっている。(図16-2)

要介護度別で見ると、要支援1は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、要支援2は「今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている」、要介護1は「外に出るのがおっくうだから」、要介護2～5は「持病があったり、体調が悪くてできないから」、それぞれ最も多くなっている。(図16-2-a)

【図16-2-a 介護予防の取り組みに意向がない理由（要介護度別）】

